木戸病院医誌

2015　VOL. 14

新潟医療生活協同組合
木戸病院
HEALTH CO-OP NIIGATA SINCE 1975

木戸病院の理念

協同互助の精神に基づき、組合員、地域住民の
医療・保健・衛生・福祉の向上を図る

基　本　方　針

1）生涯にわたる健康管理活動の支援

2）生活習慣病の予防と早期発見

3）「患者の権利章典」の豊かな実践

4）診療情報の開示

5）全人的医療を指向

目　　次

Ⅰ．巻頭言

病院長　津 田 隆 志 …… 1

Ⅱ．病院概要

1．基本情報 …… 2
2．施設基準 …… 2
3．沿革 …… 6
4．院内のご案内 …… 8

Ⅲ．2014年度臨床指標・診療実績 …… 13

Ⅳ．2014年度活動報告・研究業績

1．診療部
一般内科 …… 17
循環器内科 …… 18
呼吸器内科 …… 20
糖尿病内科・内分泌内科 …… 22
腎臓内科 …… 25
消化器内科 …… 26
神経内科 …… 27
小児科 …… 29
産婦人科 …… 31
外科 …… 32
整形外科 …… 38
皮膚科 …… 39
耳鼻咽喉科 …… 43
眼科 …… 45
歯科口腔外科 …… 46
石山診療所 …… 47
木戸クリニック …… 48
2．看護部 …… 49
3．医療安全管理室 …… 51

4．薬剤部 …… 53
5．診療技術部
検査科 …… 55
病理検査科 …… 57
放射線科 …… 58
リハビリテーション科 …… 60
栄養科 …… 61
臨床工学科 …… 63
6．事務部 …… 65
7．地域包括部 …… 66
8．健診センター …… 68
9．研究部 …… 69
Ⅴ．その他活動状況等
1．院内研究会・研修会・講演会 …… 72
2．看護部研修会 …… 74

Ⅰ. 巻　頭　言

病院長　津田隆志

この度、平成27年４月１日付けで阿部要一前病院長の後任として、病院長に就任いたしました。今後共、御支援を宜しくお願い致します。

木戸病院は、昭和51年５月に、内科・小児科・歯科など８科、88床の病院として、東区上木戸の地で開院致しました。そして、10年後の昭和61年には、第３期工事を完成させ、312床の総合病院となり、東新潟地域の拠点病院として発展してきました。それから25年近くが経過し、病院が老朽化し、手狭になったことで、平成23年７月に、現在の東区竹尾の地に新築移転致しました。

木戸病院の新築移転に合わせて、新木戸病院の医療基本構想（木戸病院のめざす医療）の論議を開始しました。院内の木戸病院リニューアル検討委員会を中心として、約７年をかけて、職員、組合員、地域住民を組織しながら検討を重ねました。

そして、「木戸病院のめざす医療」を、急性期医療を展開しながら、「地域の信頼に応える医療の確立と健康づくり拠点病院をめざす」に決めて、その後の医療活動を推進してきました。

新築移転して４年が経過する中で、医療制度改革などで医療環境も大きく変わってきました。第一に、団塊の世代が75歳を迎える2025年に向けて、病棟機能再編が避けて通れない課題になってきており、木戸病院の医療内容の再検討が必要になってきています。また第二に、東新潟地域でも急激に進む高齢化社会への対応のため、病院を中心とした、安心したまちづくりのための地域包括ケアの構築が求められていることです。再度、新築移転前の状況を思い起こし、木戸病院医療の再構築に取り組んで行く覚悟です。とりわけ、木戸病院の若い職員の皆さんには、新潟医療生協・木戸病院の歴史に関心を持っていただき、これからの木戸病院を再構築する議論に、新鮮な感性を持って参加して頂きたいと思っております。

木戸病院を再構築するためには、今後も医師・看護師をはじめ、多くの医療専門職の皆さんの参加が必要です。宜しく御願いします。

また、平成27年度から木戸病院も基幹型臨床研修病院となり、研修医の募集を開始しました。東新潟地域の急性期医療の拠点病院として、また、新潟医療生協が展開する、医療・介護・福祉の複合体の中で、地域包括ケアの要の病院として、学べる内容は大きいと考えております。是非、研修医を迎えて、院内を一層活気付けたいと思います。

当院は、東区・中央区・北区・江南区を中心に、150名以上の開業医の先生方から登録医になって頂き、医療連携を通して、東新潟地域の医療に責任を果たしてきました。今後も、実効性のある地域包括ケアの推進のため、一層緊密な連携を図っていきたいと考えております。

今回の木戸病院医誌も、当院の医療内容や各部署の活動を伝える内容となっております。是非御一読頂き、御感想を頂ければ幸いと存じます。

II. 病院概要

1. 基本情報

病　院　名　　新潟医療生活協同組合　木戸病院
開 設 者 名　　鈴木　克夫（新潟医療生活協同組合　理事長）
病 院 長 名　　津田　隆志
副 院 長 名　　太田　隆志
　　山田　　明
開設年月日　　昭和51年５月６日
病　床　数　　一般病棟：５病床257床（一般病床）
　　地域包括ケア病棟：１病棟55床（緩和ケア病床含む）
所　在　地　　〒950-0862　新潟県新潟市東区竹尾４丁目13番３号
　　TEL：025－273－2151（代表）
　　FAX：025－273－8360

診 療 科 目（26科目）
　　内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、内分泌内科、腎臓内科、神経内科、心療内科、外科、消化器外科、整形外科、精神科、アレルギー科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、小児歯科、歯科口腔外科、麻酔科

看 護 基 準　　入院基本料１（10：１）

2. 施設基準

《初診・再診料》
　　地域歯科診療支援病院歯科初診料
　　歯科外来診療環境体制加算
　　歯科診療特別対応連携加算

《医学管理》　　透析液水質確保加算
　　糖尿病透析予防指導管理料
　　院内トリアージ実施料
　　夜間休日救急搬送医学管理料
　　外来リハビリテーション診療料
　　糖尿病合併症管理料
　　がん性疼痛緩和指導管理料

がん治療連携指導料
がん患者指導管理料１，２
小児科外来診療料
ニコチン依存症管理料
肝炎インターフェロン治療計画料
薬剤管理指導料
医療機器安全管理料１
在宅患者歯科治療総合医療管理料
抗悪性腫瘍剤処方管理加算
外来化学療法加算１
無菌製剤処理料

《手術　等》　歯科技工加算
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
大動脈バルーンパンピング法（ＩＡＢＰ法）
医科点数表第２章第10部手術の通則５及び６に掲げる手術
歯周組織再生誘導手術
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
人工肛門、人工膀胱造設前処置加算
輸血管理料（Ⅱ）
麻酔管理料（Ⅰ）
輸血適正使用加算
経皮的冠動脈形成術
経皮的冠動脈ステント留置術
胃瘻造設術
胃瘻造設時嚥下機能評価加算
麻酔管理料（Ⅰ）

《検　　査》　造血器腫瘍遺伝子検査
ＨＰＶ核酸検出
検体検査管理加算（Ⅱ）
皮下連続式グルコース測定
内服・点滴誘発試験
植込型心電図検査
時間内歩行試験
ヘッドアップティルト試験
神経学的検査
HPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
持続血糖測定器加算

《画　　像》　ＣＴ撮影及びＭＲＩ撮影

《リハビリテーション》
脳血管疾患等リハビリテーション（Ⅰ）
運動器リハビリテーション（Ⅰ）
呼吸器リハビリテーション（Ⅰ）
がん患者リハビリテーション料

《入 院 料》　一般病棟入院基本料（10対１）
地域包括ケア病棟入院料1（５階病棟）
救急医療管理加算・乳幼児救急医療管理加算
妊産婦緊急搬送入院加算
診療録管理体制加算２
医師事務作業補助体制加算２（15対１）
急性期看護補助体制加算
療養環境加算
重症者等療養環境特別加算
退院調整加算
医療安全対策加算１
感染防止対策加算１
患者サポート体制充実加算
救急搬送患者地域連携紹介加算
ハイリスク妊娠管理加算
救急搬送患者地域連携受入加算
総合評価加算
データ提出加算２
病棟薬剤業務実施加算

《歯　　科》　歯科治療総合医療管理料
クラウン・ブリッジ維持管理料
歯科口腔リハビリテーション料２

《そ の 他》　入院時食事療養（Ⅰ）
食堂加算

学会指定施設　日本内科学会認定医制度教育関連病院
日本消化器内視鏡学会指導施設
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本呼吸器学会認定施設

日本糖尿病学会認定教育施設
日本腎臓学会研修施設
日本外科学会認定医制度修練施設
日本整形外科学会認定医制度研修施設
日本産婦人科学会認定医制度卒後研修指導施設
日本肝臓学会関連施設
日本消化器病学会関連施設
日本皮膚科学会認定施設
日本静脈経腸栄養学会ＮＳＴ稼働施設
マンモグラフィ検診施設
日本臨床細胞学会認定施設
日本透析医学会専門医制度　新潟大学歯学総合病院教育関連施設

指定医療機関　臨床研修病院
歯科臨床研修病院
救急指定医療機関
健康保険法指定医療機関
国民健康保険指定医療機関
生活保護法指定医療機関
優生保護法指定医療機関
結核予防法指定医療機関
原爆医療法指定医療機関
身体障害者福祉法指定医療機関
日本病院会、短期人間ドック指定
厚生医療指定医療機関
育成医療指定医療機関
在宅酸素療法指定管理施設
労働者災害保障保険医療機関
新潟県肝疾患診療協力病院

新潟医療生活協同組合事業所
健診センター
石山診療所
なじょも
・木戸クリニック
・訪問介護センターなじょも
・訪問看護ステーションなじょも
・ディサービスセンターなじょも
・ショートステイなじょも

・通所リハビリテーションなじょも
・サービス付き高齢者向け住宅CO-OPなじょもガーデン
・在宅介護支援センターあしぬま荘（社会福祉法人　亀田郷芦沼会運営）
・新潟市地域包括支援センター木戸・大形（社会福祉法人　亀田郷芦沼会運営）

石山訪問看護ステーション
訪問介護センターすみれ
ケアプラン石山
介護老人保健施設ほほえみの里きど
フィットネスクラブ withウィズ
病児保育室「きどっこ」

関連事業所　亀田郷芦沼会
・特別養護老人ホーム　あしぬま会
・特別養護老人施設　風の笛
・ディサービスセンター　あしぬま
・ショートステイ　あしぬま
・在宅介護支援センター　あしぬま荘
・知的障害者通所授産施設　ほがらか福祉園

協 力 施 設　特別養護老人施設　あしぬま荘
特別養護老人施設　風の笛
介護老人保健施設　有楽園
介護老人保健施設　アビラ大形
逢谷内デイ・サービスセンター
痴呆高齢者グループホーム　大形
介護老人福祉施設　あわやまの里
介護老人保健施設　松浜さくら園
地域密着型福祉施設　徳蓮荘

3．沿革

昭和50年２月　新潟医療生活協同組合設立許可
昭和51年５月　木戸病院開院（病床数：88床）
診療科：内科、神経内科、循環器科、小児科、皮膚科、歯科
昭和53年４月　RI室開設、病少数：85床に変更
昭和54年５月　二期工事竣工（病床数：171床）
昭和54年６月　新館での外来診療開始
診療科：内科、神経内科、循環器科、消化器科、呼吸器科、外科、肛門科、小児科、皮膚科、理学診療科、放射線科

昭和59年8月　300床総合病院化計画に着手
昭和60年11月　木戸病院分館新築工事竣工
昭和60年12月　病床数を178床に変更
昭和61年4月　三期工事竣工（病床数：312床）
整形外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、眼科診療を開始現在の19診療科となる
平成３年　透析ベッド増設、リハビリ施設充実、高橋眼科跡地を事務管理棟に改築
平成５年５月　心臓カテーテル室完成
平成５年12月　四期工事竣工（健診センター）
平成８年３月　石山診療所歯科を病院と統合
平成９年７月　ＭＲＩ導入
平成13年10月　日本医療評価機構より認定（一般Ｂ認定取得）
平成16年４月　厚生労働省より臨床研修病院指定
（新潟大学医歯学総合病院、富山医科薬科大学）、透析室増床（25床→29床）
平成16年５月　当日外来電話予約システムを開始
平成22年１月　電子カルテ稼動
新病院工事着工
平成23年７月　東区竹尾にて新病院開院
診療標榜科　（一般内科、循環器内科、呼吸器内科、糖尿病内科、内分泌内科腎臓内科、消化器内科、神経内科、心療内科、精神科、小児科、産婦人科、外科、消化器外科、整形外科、皮膚科、アレルギー科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、眼科、歯科、小児歯科、歯科口腔外科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科）
平成24年４月　病院敷地内に病児保育室「きどっこ」開設
平成24年９月　日本医療機能評価機構の病院機能評価Ver.６を受審
平成24年12月　日本医療機能評価機構の病院機能評価Ver.６に認定
平成25年４月　旧病院敷地に複合施設「なじょも」開設
平成25年４月　木戸病院　院長に阿部　要一が就任
平成25年６月　新潟医療生活協同組合理事長に矢田　省吾が就任
平成26年９月　基幹型臨床研修病院指定
平成26年10月　複合施設「なじょも４号館・５号館」が開設
平成27年４月　木戸病院　院長に津田　隆志が就任

4．院内のご案内

木戸病院　〒950-0862　新潟県新潟市東区竹尾４丁目13－３
TEL．025－273－2151(代)　FAX．025－273－8360
木戸病院ホームページ　http://kido.iryo-coop.com

診療受付・診療時間・面会時間・休診日

診療受付／外来の受付は下記の予約センターをご利用ください。
フリーダイヤル　0120－432－472
携帯電話・公衆電話からは　025－273－2175
診療時間／午前９：00～午後５：00
第２・第４土曜日　午前９：00～午後12：30
休 診 日／日曜、祝祭日、第１・３・５土曜日
午後休診／毎週木曜日、第２・第４土曜日
面会時間／全日
（一　　般）午前11：00～午後８：00
（産婦人科）午前11：00～午後１：00　午後４：00～午後８：00

各階構成

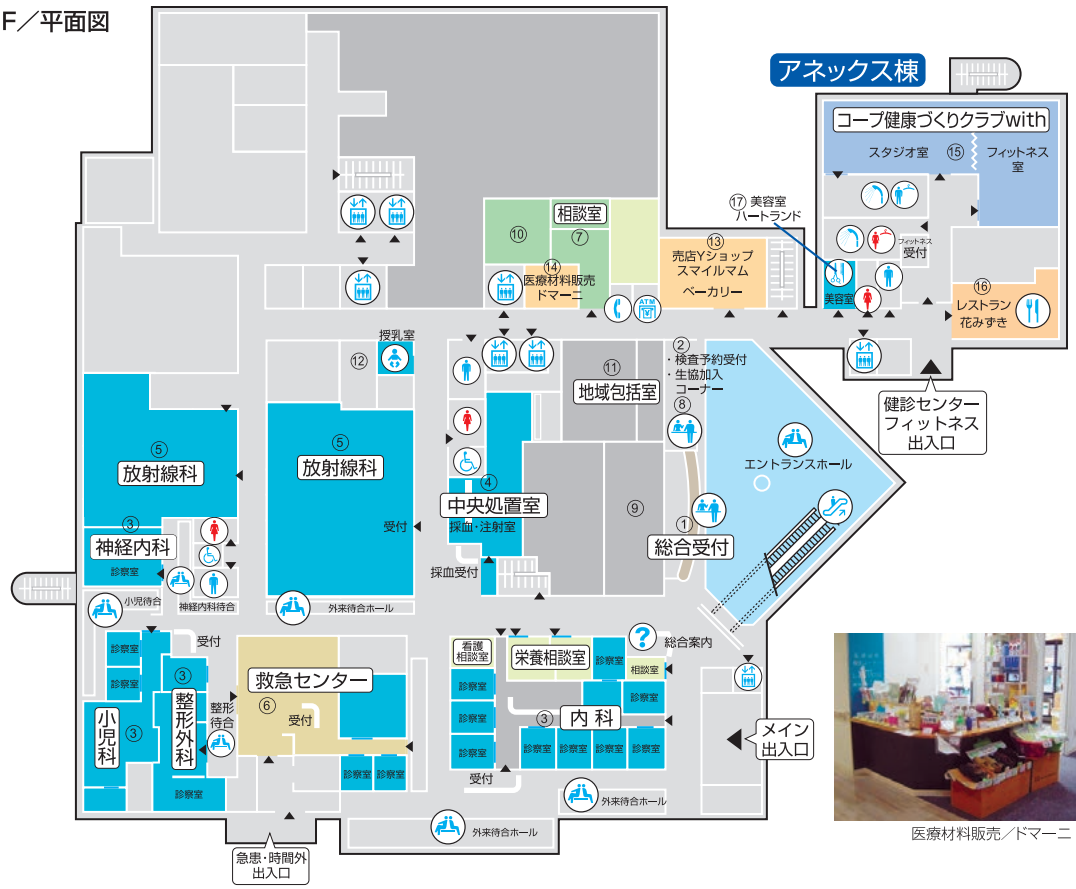
9F	消化器病センター（消化器内科　外科）	53床	
8F	循環器内科　内科　耳鼻咽喉科	54床	
7F	小児科　皮膚科　糖尿病センター 腎臓内科　呼吸器内科	50床	
6F	産婦人科　眼科 歯科口腔外科　消化器内科	50床	
5F	地域包括ケア病棟（緩和ケア病床10床）	55床	
4F	神経内科　整形外科	50床	
3F	手術	手術室・中央材料室・病理検査室・薬剤部・ART(不妊治療) SPD(院内物品管理)センター・ME(医療機器保守管理)センター 医局・管理部門・病歴図書室・会議室	アネックス棟 講　堂 会議室(2室) 和室会議室(1室) 職員食堂
2F	外来	歯科・歯科口腔外科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・泌尿器科・皮膚科 外科・透析室・内視鏡室・化学療法室 放射線科(一般撮影室・X線TV室・血管造影室・骨密度検査室 マンモ検査室) 検査室(一般・細菌・生理検査)・患者ラウンジ・学生室	健診センター
1F	外来	総合受付・検査予約センター・内科・心療内科・整形外科・小児科 神経内科・救急センター・中央処理室(点滴・注射・採血) 放射線科(一般撮影室・CT検査室・MRI検査室・RI検査室) 相談室・生協加入コーナー・医事課事務室・地域包括室・診療事務課事務室 ボランティア室・Yショップ売店/スマイルマム・医療材料販売/ドマーニ	コープ健康づくりクラブwith(ウィズ) レストラン/花みずき 美容室/ハートランド

各階のご案内

1F

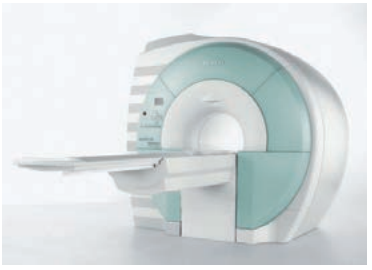
①総合受付　②検査予約センター　③外来（内科・心療内科・整形外科・小児科・神経内科）
④中央処置室（点滴・注射・採血）　⑤放射線科（一般撮影室・CT検査室・MRI検査室・RI検査室）
⑥救急センター　⑦相談室　⑧生協加入コーナー　⑨医事課事務室　⑩診療事務課事務室
⑪地域包括室　⑫ボランティア室　⑬Yショップ売店/スマイルマム　ベーカリー　⑭医療材料販売/ドマーニ
⑮アネックス棟／コープ健康づくりクラブ「withウィズ」　⑯レストラン/花みずき　⑰美容室/ハートランド

1F／平面図



医療材料販売／ドマーニ 1階

総合受付／エントランスホール 1階


放射線科／MRI装置

内科／待合室 1階

Yショップ売店スマイルマム 1階

レストラン／花みずき 1階

CT室

各階のご案内

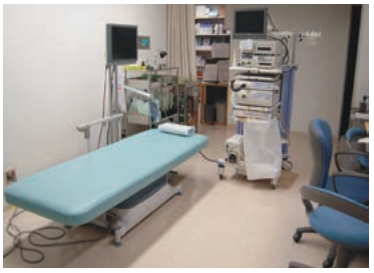
2F

⑱外来（歯科・歯科口腔外科・産婦人科・眼科・耳鼻科・泌尿器科・皮膚科・外科）
⑲透析室　⑳内視鏡室　㉑化学療法室
㉒放射線科（一般撮影室・X線TV室・血管造影室・骨密度検査室・マンモ検査室）
㉓検査室（一般・細菌・生理検査）㉔腹部エコー室　㉕ラウンジ
㉖アネックス棟／健診センター

2F／平面図

透析室

血管造影室


内視鏡室

ラウンジ／2階

3 階～ 6 階ご案内図

各階のご案内

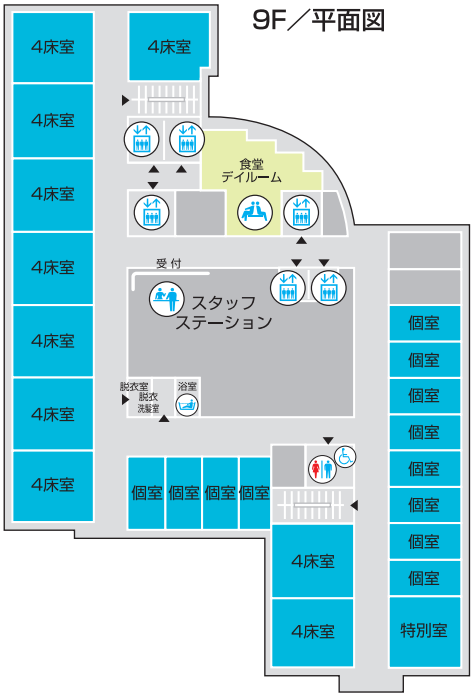
3階

手術室

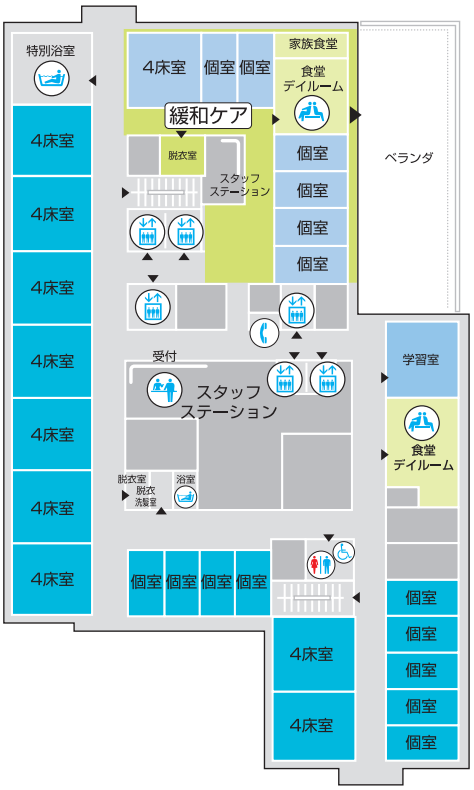
4階

リハビリテーション室

9F／平面図



5F／平面図（地域包括ケア病棟）



6階

LDR室／陣痛～分娩～回復期を家庭にいるような雰囲気の中で、
リラックスしてお産ができるお部屋です。

産婦人科／個室（シャワー、トイレ、洗面付）

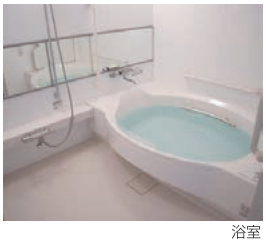
病棟ご案内図

各階のご案内

4階～9階病棟（312床）

4人部屋

個室


浴室

多目的WC

分散型WC

特別室

交通のご案内

お車でお越しの方

・新潟駅より車で15分。

公共交通機関でお越しの方

≪バス≫平成23年７月１日より、木戸病院行きのバスが運行されています。

・新潟交通：古町～竹尾～卸会館　線

・古町～竹尾～木戸病院　線

・新潟駅南口～中山跨線橋～木戸病院線

Ⅲ. 2014年度臨床指標・診療実績

部所	行為	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
手術室	外科	27	28	23	27	27	25	34	24	22	18	23	31	309
	整形外科	19	21	25	25	13	21	32	22	32	33	22	35	300
	産婦人科	13	6	6	7	14	8	12	14	9	8	5	10	112
	耳鼻咽喉科	1	3	3	4	4	4	5	3	3	3	6	5	44
	眼科	32	32	41	41	26	32	38	35	31	36	24	30	398
	皮膚科	7	13	5	10	3	7	10	10	5	5	7	12	94
	内科	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	6
	透析	5	1	0	0	3	5	0	2	2	3	3	3	27
	歯科 口腔外科	0	1	0	0	0	1	2	1	1	2	0	1	9
	合計	104	105	104	115	91	103	133	111	105	109	91	128	1,299
心カテ室	心臓カテーテル	14	15	13	18	11	13	20	16	13	18	17	17	185
	腹部アンギオ	5	0	2	3	2	2	5	5	3	1	2	1	31
	ペースメーカー	3	3	6	6	2	5	4	5	2	3	1	4	44
	合計	22	18	21	27	15	20	29	26	18	22	20	22	260
内視鏡	胃カメラ	500	532	489	569	491	506	495	517	527	542	503	469	6,140
	大腸カメラ	152	160	164	194	166	150	170	169	145	141	132	145	1,888
	ＥＲＣＰ	7	15	15	8	7	17	7	15	11	15	11	17	145
	気管支内視鏡	4	1	3	3	0	0	0	3	0	1	2	1	18
	緊急（止血術）	9	8	7	5	6	7	3	6	5	3	3	2	64
	合計	672	716	678	779	670	680	675	710	688	702	651	634	8,255
放射線科	CT	565	554	546	621	566	587	632	523	628	534	505	269	6,530
	RI	50	34	39	39	33	45	52	33	30	30	34	41	460
	MRI	317	279	292	304	238	256	301	232	295	262	257	286	3,319
	骨密度	159	125	113	146	101	97	119	114	132	74	102	164	1446
	合計	1091	992	990	1110	938	985	1104	902	1085	900	898	760	11,755
検査室	検体検査	8,511	8,149	8,452	9,113	7,872	8,398	8,765	7,531	8,287	7,690	7,516	8,223	98,507
	生理検査	1,257	1,072	1,163	1,188	866	1,014	1,085	912	1,137	646	918	1,053	12,311
	細菌検査	1,570	1,703	1,695	1,606	1,644	1,520	1,601	1,440	1,918	2,469	2,055	1,911	21,132
	合計	11,338	10,924	11,310	11,907	10,382	10,932	11,451	9,883	11,342	10,805	10,489	11,187	131,950
栄養科	外来栄養指導	213	206	192	231	189	192	241	189	208	175	180	219	2,435
	入院栄養指導	48	32	39	41	31	31	48	48	33	36	46	61	494
	石山診療所	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	合計	261	239	232	272	220	223	289	237	241	211	226	280	2,931
病理	剖検	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	組織診	199	192	188	232	210	212	230	211	218	176	185	197	2,450
	細胞診	339	365	372	396	331	438	492	402	394	358	357	289	4,533
	合計	538	557	560	629	541	650	722	613	612	534	542	486	6,984
訪問リハビリ（回数）		352	352	342	352	316	290	301	252	264	270	296	314	3,701
臨床病理検討会		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

【産婦人科】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自然分娩	9	10	7	7	8	17	7	12	5	9	10	17	118
吸引分娩	3	0	2	5	5	4	2	0	0	3	0	1	25
帝王切開	2	2	4	2	4	4	3	1	3	2	2	3	32
分娩合計	14	12	13	14	17	25	12	13	8	14	12	21	175

【服薬指導状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	183	218	265	278	271	227	267	223	218	217	259	234	2,860
小児科	5	11	9	6	12	16	19	22	19	11	8	12	150
外科	45	46	34	50	78	78	90	58	51	32	46	52	660
皮膚科	1	1	6	12	12	2	6	5	0	2	6	6	59
歯科	0	1	1	0	0	0	0	2	1	2	1	0	8
産婦人科	24	6	10	13	0	10	28	19	17	26	14	14	181
整形外科	128	101	106	123	93	95	136	127	144	126	115	160	1,454
耳鼻科	6	10	21	12	11	12	19	16	8	9	18	21	163
眼科	15	8	20	22	10	6	2	6	1	2	1	1	94
神経内科	34	20	23	22	49	32	29	37	31	32	27	35	371
合計	441	422	495	538	536	478	596	515	490	459	495	535	6,000

【健診センター】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
宿泊ドック	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	4
日帰りドック	145	200	256	320	229	282	367	323	296	260	273	247	3,198
合計	146	200	257	320	229	283	367	323	297	260	273	247	3,202

【褥瘡推定発生率】 調査日に褥瘡を保有する患者－入院時にすでに褥瘡保有が記載されていた患者÷調査日の入院患者×100（%）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1度以上	6.6%	7.5%	6.6%	7.8%	6.7%	5.3%	6.9%	5.0%	4.3%	3.4%	7.1%	6.3%
2度以上	6.6%	3.9%	5.9%	6.9%	5.9%	4.9%	6.1%	3.1%	3.9%	2.7%	6.8%	5.9%

【病院褥瘡有病率】 調査日に褥瘡を保有する患者÷調査日の入院患者数×100（%）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1度以上	14.8%	15.1%	13.6%	15.2%	12.6%	11.8%	12.2%	5.4%	9.3%	10.3%	8.6%	10.4%
2度以上	13.2%	7.1%	12.9%	14.4%	11.1%	11.0%	11.8%	4.6%	8.3%	8.9%	7.9%	9.7%

【2014年度外来患者数】

初診患者数

外　　来	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件　　数	1,462	1,413	1,327	1,526	1,523	1,347	1,523	1,472	1,529	1,326	1,250	1,356	17,054
診療日数	23	22	23	24	23	22	24	20	23	21	21	24	270

延患者数

外　　来	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内　　科	7,915	7,546	7,389	8,114	7,256	7,510	7,978	7,515	8,155	7318	6,765	7,396	90,857
外　　科	603	651	697	694	688	696	794	616	811	700	614	738	8,302
小 児 科	664	700	627	649	630	633	849	916	922	747	720	644	8,701
皮 膚 科	896	882	988	1,072	963	951	964	799	813	766	804	905	10,803
整形外科	1,217	1,298	1,242	1,341	1,231	1,275	1,359	1,116	1,312	1,113	1,057	1358	14,919
産婦人科	748	715	710	745	678	746	732	645	689	610	608	701	8,327
耳 鼻 科	749	709	691	729	705	568	730	600	640	599	598	658	7,976
泌 尿 器	427	430	408	461	398	433	471	409	416	399	377	441	5,070
眼　　科	865	924	944	898	818	902	925	776	924	843	770	864	10,453
精　　神	22	18	22	21	20	27	23	18	23	13	24	60	291
神経内科	449	493	437	480	418	443	505	395	483	415	356	479	5,353
歯　　科	1,345	1,268	1,213	1,197	1,275	1,289	1,341	1,165	1,284	1,208	1,258	1,507	15,350
合　　計	15,900	15,634	15,368	16,401	15,080	15,473	16,671	14,970	16,472	14,731	13,951	15,751	186,402
診療日数	23	22	23	24	23	22	24	20	23	21	21	24	270

【2014年度入院患者数】

新入院患者数

入　　院	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件　　数	424	403	445	475	466	491	511	426	493	484	401	483	5,502

延患者数

入　　院	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般内科	50	32	99	113	135	153	161	122	110	71	118	131	1,295
腎臓内科	856	912	849	742	959	786	878	859	975	1,334	1,017	1,018	11,185
循環器内科	1,221	1,206	1,066	1,149	1,108	1,188	1,473	1,349	1,303	1,205	1,050	1,175	14,493
消化器内科	1,678	1,738	1,680	1,600	1,462	1,319	1,364	1,139	1,366	1,553	1,504	1,462	17,865
糖尿病内科	797	745	555	477	462	464	597	534	690	719	630	715	7,385
呼吸器内科	589	674	655	826	738	806	708	607	799	876	777	943	8,998
外　　科	915	952	886	932	1,056	1,110	1,331	906	1,025	924	897	1,032	11,966
小　児　科	98	110	109	90	90	112	145	173	162	122	74	79	1,364
皮　膚　科	10	23	33	102	109	16	40	39	15	21	78	125	611
整形外科	1,049	856	793	971	738	867	1,061	1,096	1,305	1,216	913	1,232	12,097
産婦人科	328	236	320	347	423	449	340	352	293	405	250	320	4,063
耳　鼻　科	99	87	196	135	189	142	163	173	125	129	171	252	1,861
眼　　科	88	74	105	122	95	87	133	104	73	96	71	69	1,117
神経内科	379	543	381	381	502	319	320	433	494	585	432	494	5,263
歯　　科	25	11	42	34	21	16	6	23	54	46	10	21	309
合　　計	8,182	8,199	7,769	8,021	8,087	7,834	8,720	7,909	8,789	9,302	7,992	9,068	99,872
診療日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365

Ⅳ．2014年度活動報告・研究業績

１．診療部

【一般内科】

１．活動報告

２．研究業績

論文・著書

邦文原著

１．斎藤　恒．メチル水銀中毒問題と宇沢弘文氏の考え方．現代思想 143，171－181，2015.

学会発表

国内学会発表

１．斎藤　恒，丸山公男，萩野直路．第10回水俣病事件研究交流集会（2015／１／10－11，熊本）

講演

その他

【循環器内科】

１．活動報告

診療体制

常勤医師３人、新潟大学循環器内科派遣医師１人（日本循環器学会認定循環器専門医３人）

外来診療

１週間のうち循環器専門外来（予約）７枠、高脂血症外来（予約）１枠、内科新患外来４枠（土曜を含む）を担当。心不全、不整脈、冠動脈疾患、末梢動静脈疾患等の疾患について診断、治療を行い、疑い例も含め近隣施設からの紹介に可能な限り対応するよう心がけている。一方で、新患、紹介患者にできるだけ対応できるよう、高血圧症例など、状態が比較的安定している予約外来の患者については近隣医療機関への逆紹介をお願いしている。

入院診療

年間入院患者数621人（うち急性心不全154人　急性心筋梗塞17人）　平均在院日数22.7日。主病名が非心臓疾患であっても、高齢者は慢性心不全等の循環器疾患を合併していることも多くＡＤＬの低下や在院日数が延びる原因の一つとなっている。2014年度の心臓カテーテル検査室の稼働状況は以下の通り。

心カテ室稼働状況

（検査）	冠動脈造影件数（ＰＣＩは除く）	131件
	左室造影件数	117件
	大動脈造影件数	10件
	血管内超音波検査件数	９件
	心筋生理件数	１件
	電気性理学的検査件数	１件
（治療）	緊急ＰＣＩ件数	８件
	待機的ＰＣＩ件数	39件
	ステント留置件数	48件（58病変）
	バルーン拡張術	１件（２病変）
	ＰＴＡ件数	５件
	下大動脈フィルター挿入件数	５件
	ＩＡＢＰ挿入件数	４件
	ペースメーカー植込件数	新規18件　交換２件

２．研究業績

論文・著書

その他

１．津田隆志．繰り返す発作性心房粗動の治療にAT/AFマネジメント機能が劇的な効果を示した一例．日本メドトロニック株式会社　Case Report

学会発表

国内学会発表

１．津田隆志．繰り返す発作性心房粗動の治療に頻拍治療ペースメーカーが劇的な効果を示した一例．第17回東新潟循環器研究会（2014／11／19，新潟）

２．山口利夫．１枚の心電図から何を考えるか．第15回コロキウム虚血性心疾患in新潟（2014／９／６，新潟）

３．山口利夫．若年発症した急性冠症候群の一例．第17回東新潟循環器研究会（2014／11／19，新潟）

講演

その他

学会座長

◇津田隆志

・第16回東新潟循環器研究会座長（2014／５／28，　新潟）

・第17回東新潟循環器研究会座長（2014／11／19，　新潟）

院内活動

◇津田隆志

・副院長

・ＤＰＣ準備委員会委員長

・医療情報システム管理運営委員会委員長

・備品医材料購入委員会委員長

・基幹型臨床研修病院準備会委員

◇山口利夫

・診療部長

・院内感染管理部門委員長

・基幹型臨床研修病院管理委員会プログラム責任者

・医療安全管理部門会議委員

【呼吸器内科】

１．活動報告

診療体制

常勤医師２人の診療体制。

入院診療

2014年度の入院患者総数は341人で、内訳は呼吸器感染症141人、COPD 18人、気管支喘息18人、間質性肺疾患23人、肺癌41人、気胸５人、その他95人（重複なし）。

２．研究業績

論文・著書

学会発表

１．成田淳一，　河辺昌哲，　河井一浩，　小堺貴司．喘息症状で発症しびまん性陰影を呈したクロピドグレルによる薬剤性好酸球増加症の１例．第135回日本内科学会信越地方会（2014／10／5，松本）

講演

◇成田淳一

・呼吸器内科診療の現状．木戸病院職員集会（2014／12／11，新潟）

その他

企画開催

・第７回東新潟ＮＨＣＡＰ懇話会（2014／６／19，新潟）
・第８回東新潟ＮＨＣＡＰ懇話会（2014／11／19，新潟）
・第１回東区吸入療法勉強会（2014／９／18，新潟）
・第２回東区吸入療法勉強会（2015／３／12，新潟）

研究会座長

◇成田淳一

・東新潟呼吸器フォーラム（2015／３／５，新潟）

研究会幹事会

◇成田淳一

・新潟チェストカンファレンス拡大幹事会（2015／２／21，新潟）
・新潟喘息治療研究会幹事会（2015／３／14，新潟）
・新潟ＣＯＰＤリンク世話人会（2014／11／18，新潟）

◇河辺昌哲

・新潟吸入療法研究会幹事会（2014／７／25，新潟）

院内活動

◇成田淳一

・感染管理部部門会議

・医薬品委員会

・輸血療法委員会

・化学療法委員会

・７階病棟会議

◇河辺昌哲

・クリニカルパス委員会

・地域包括室会議

・保険請求検討委員会

・７階病棟会議

【糖尿病内科・内分泌内科】

１．活動報告

糖尿病センター

医師体制

2015年４月から安藤先生、大澤先生が着任され２人増員となりました。

津田晶子	Ｓ52年卒	内科認定医　糖尿病専門医　糖尿病指導医　内分泌専門医
荻原智子	Ｈ９年卒	内科認定医
濱ひとみ	H11年卒	内科専門医　糖尿病専門医　透析専門医
安藤麻里	H18年卒	内科認定医
大澤妙子	H21年卒	内科認定医

糖尿病センター 2014年度の総括

病診連携

１．病診連携室を通して緊急入院・教育入院・外来教室などの紹介・受診予約などの他、逆紹介・病診連携患者さんの定期検査受診予約などをスムーズに行いました。

２．一方、東新潟糖尿病懇話会の定期開催・病診連携の患者さんの登録台帳作成が課題です。

予防・健康づくり

１．メデイカルフイットネスWithと新潟大学教育学部保健体育・スポーツ科学講座とのタイアップが定着しました。

２．Withの新パンフレットを作成し、毎月の生協機関紙掲載・ホームページ掲載を実施しました。

３．With　３周年キャンペーン（６／１～９／30）では、健康セミナーを７／５開催し好評でした。

講演「病気と仲良く生涯健康をめざして」	津田晶子医師	参加人数66名
実技「ココロもカラダもリラックス」	間　由美子トレーナー	参加人数66名
試食会「免疫力アップ！初夏の献立」	矢尾板恵美管理栄養士	参加人数46名

４．健康まつりでは「背中ひきしめ体操」参加65名「キッズ空手演武、無料体験」参加25名
理学療法士による「膝・腰・肩痛対策実践教室」講習会　毎月第１水曜日　　参加61名

５．院内外活動では、班会２回（うちWith内開催　１回）
北区健康セミナー：津田晶子医師、間　由美子　参加人数約50名
看護部研修、糖友会総会、あしぬま荘職員研修会運動指導：間　由美子
糖尿病スタッフ会議運動指導：矢尾板恵美

６．健診センターに協力を得て、健診受診者様にパンフレットの配布ができ、入会へつながることができました。健診センターからの外来予約は、重症度により緩急をつけて行いスムーズでした。

診療・チーム医療

１．糖尿病センタースタッフ会議を定期開催し、学習会では、年間予定を立てて院内協力体制を目指しました。

２．運動療法では、糖尿病教育入院でのWith利用による運動指導効果の向上と利用者増に努めました。

（総勢47名）外来受診者を対象とし、外来スタッフの協力により、診察待ち時間内にWithを利用していただくことができました。

3．治療の一環として「In　Body」測定を実施し効果を上げています。（外来、入院患者合わせて60名）

4．外来では、外来実践糖尿病教室の他、外来栄養相談・看護外来（療養相談・生活指導・インスリン注射指導・フットケア）妊娠糖尿病指導・透析予防のための糖尿病透析予防療養指導外来が効果を上げています。血糖自己測定値自動取り込みや、24時間血糖持続測定検査が、治療方針再検討に役立っています。

5．糖尿病専門病棟であった５階病棟の包括病棟への移行に伴い、入院治療が多病棟にまたがることとなり、医師も各病棟スタッフもともに多忙となり、入院治療のうちの教育指導・チーム医療の面が、不十分となりました。医師が多忙となり、東新潟糖尿病懇話会が開催できず、各病棟スタッフとの連携が不十分になりました。各病棟のスタッフにとっても、一貫して患者さんに関われないことからの苦労がありました。

6．新潟地域糖尿病療養指導士に新たに５名が合格、合計10名になりました。日本糖尿病療養指導士は新たに１名が合格。合計６名になりました。フットケア講習修了者は３名になりました。それぞれが、各職場での糖尿病療養指導の中核になっています。

友の会活動

・保健師の不在により、友の会活動は、総会を始め、日程決定が遅れがちになりました。

２．研究業績

論文・著書

邦文原著

1．津田晶子．インスリンポンプ療法における日常生活の注意点．インスリンポンプ療法マニュアルCSII療法導入・管理のための手引き改訂第２版 111-117，2014.

学会発表

国内学会発表

1．涌井陽子，濱　ひとみ，荻原智子，津田晶子．無自覚性低血糖と血糖の変動が課題となっている１型糖尿病に対する、持続型インスリンデグルデク使用による効果－ＳＭＢＧの自動取り込みとＣＧＭでの検討－．第57回日本糖尿病学会年次学術集会（2014／５／24，大阪）

2．津田晶子，涌井陽子，濱　ひとみ，荻原智子．２型糖尿病に対する糖毒性是正後のビクアナイド剤大量療法とＤＰＰ４阻害剤との併用療法の効果．第57回日本糖尿病学会年次学術集会(2014／５／23，大阪）

3．津田晶子，涌井陽子，濱　ひとみ，荻原智子．パーキンソン症候群様症状を契機に発見された、ＡＣＴＨ分泌不全症の一例．第99回新潟内分泌代謝同好会（2014／６／７，新潟）

4．濱　ひとみ，田邊繁世，猪俣　繁，荻原智子，津田晶子，太田隆志，矢田省吾．高容量メトホルミン内服中、脱水を契機に乳酸アシドーシスと急性腎不全を発症し、血液透析により救命しえた一例．第38回遊腎会学術講演会（2015／１／20，新潟）

5．濱　ひとみ，田邊繁世，猪俣　繁，荻原智子，津田晶子，太田隆志．高容量メトホルミン内服中、

脱水を契機に乳酸アシドーシスと急性腎不全を発症し、血液透析により救命しえた一例．第44回新潟糖尿病談話会（2015／２／４，新潟）

講演

１．津田晶子．インスリン治療にカーボカウントを取り入れて．第24回新潟糖尿病スタッフセミナー（2014／８／31，長岡）
２．津田晶子．１型糖尿病における低血糖（２型糖尿病との違い）．研修医のための第４回インスリン療法セミナー（2014／９／２，新潟）
３．津田晶子．１型糖尿病治療のめざすもの．LILLY　Diabetes　インスリン導入マスターコース（2014／９／18，Web講演会）
４．津田晶子．病気と仲良く生涯健康をめざして．健康セミナー（2014／４／５，町田）
５．津田晶子．生涯健康をめざして．With３周年記念健康セミナー（2014／７／５，新潟）
６．津田晶子．糖尿病の治療－薬物療法．新潟市糖尿病ミニ講座（2015／２／22，新潟）
７．濱　ひとみ．糖尿病について．健康セミナー（2015／１／30，新潟）

その他

学会活動

◇津田晶子

・日本糖尿病学会（評議委員）
・日本先進糖尿病治療研究会（世話人）

学会座長

◇津田晶子

・第57回日本糖尿病学会総会（2014／５／23，大阪）
・第14回日本先進糖尿病治療研究会（2014／12／６，徳島）
・研究会座長　８件

学生講義

◇津田晶子

・新潟大学医歯学総合病院血液内分泌代謝内科非常勤講師
・新潟大学医学部Ｍ３講義「経口糖尿病薬」（2015／１／21）
・新潟大学医学部Ｍ３実習ミニ講義「糖尿病ケトアシドーシス・１型糖尿病」

【腎臓内科】

１．活動報告

２．研究業績

論文・著書

学会発表

国内学会発表

１．涌井陽子，濱　ひとみ，荻原智子，津田晶子．無自覚性低血糖と血糖の変動が課題となっている１型糖尿病に対する。持続型インスリンデグルデク使用による効果－ＳＭＢＧの自動取り込みとＣＧＭでの検討－．第57回日本糖尿病学会年次学術集会（2014／５／24，大阪）

２．津田晶子，涌井陽子，濱　ひとみ，荻原智子．２型糖尿病に対する糖毒性是正後のビクアナイド剤大量療法とＤＰＰ４阻害剤との併用療法の効果．第57回日本糖尿病学会年次学術集会(2014／５／23，大阪）

３．津田晶子，涌井陽子，濱　ひとみ，荻原智子．パーキンソン症候群様症状を契機に発見された、ＡＣＴＨ分泌不全症の一例．第99回新潟内分泌代謝同好会（2014／６／７，新潟）

４．濱　ひとみ，田邊繁世，猪俣　繋，荻原智子，津田晶子，太田隆志，矢田省吾．高容量メトホルミン内服中、脱水を契機に乳酸アシドーシスと急性腎不全を発症し、血液透析により救命しえた一例．第38回遊腎会学術講演会（2015／１／20，新潟）

５．濱　ひとみ，田邊繁世，猪俣　繋，荻原智子，津田晶子，太田隆志．高容量メトホルミン内服中、脱水を契機に乳酸アシドーシスと急性腎不全を発症し、血液透析により救命しえた一例．第44回新潟糖尿病談話会（2015／２／４，新潟）

講演

１．濱　ひとみ．糖尿病について．健康セミナー（2015／１／30，新潟）

その他

【消化器内科】

１．活動報告

【外科】活動報告を参照

２．研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

【神経内科】

１．活動報告

診療体制

北原真紀子医師が2014年４月より着任し、常勤医２人体制で診療活動を行っています。

入院診療

脳血管疾患（脳梗塞、脳出血）の急性期治療、神経変性疾患（パーキンソン病、多系統萎縮症、脊髄小脳変性症等）の診断・治療、アルツハイマー病などの認知症の内科的合併症の治療を行いました。

外来診療

新潟市の認知症地域連携により、認知症診断、治療に関する紹介受診が増えました。

２．研究業績

論文・著書

邦文症例報告

１．北原真紀子，金澤雅人，畠山公大，柳村文寛，坂上拓郎，河内　泉，西澤正豊．複視と眼瞼下垂を呈した多発血管炎性肉芽腫症（ウェゲナー肉芽腫症）の１例．BRAIN and NERVE. 66： 880－881, 2014.

英文症例報告

１．Kasuga K, Takeuchi R, Takahashi T, Matsubara N, Koike R, Yokoseki A, Nishizawa M. Multifocal hits for propagation of prion protein in sporadic Creutzfeldt-Jakob disease. Neurol Neuroimmunol Neuroinflamm 2: e 53, 2015.

学会発表

講演

１．高橋俊昭．脳梗塞～疾患の理解と予防について～．第34回健康まつり（2014／10／13，新潟）

２．高橋俊昭．脳梗塞～疾患の理解と予防について～．第２回保健講座（2015／１／23，新潟）

その他

社会活動

◇高橋俊昭

・新潟市医師会　認知症相談医

院内学習会

◇高橋俊昭

・神経診察、神経疾患の理解について勉強会（４階病棟・不定期）

院内活動

◇高橋俊昭

・死亡症例検討会

・接遇改善推進委員会

・リスクマネージャー委員会

・基幹型臨床研修病院管理委員会

・互助会幹事会

【小児科】

１．活動報告

診療体制

常勤医師２名、時短常勤医師１名で活動している。

外来診療

月、火、水曜日は２診体制で、木、金曜日は１診体制で一般診療を行っている。火曜日の１時30分からは乳児健診、金曜日の１時30分からと月、火曜日の３時から予防接種を施行している。第２、４土曜日は一般診療と生活習慣病外来（常勤医師の樋浦が担当）を行っている。

入院診療

平成26年度の入院患者総数は261名、平均在院日数は5.3日であった。喘息や肺炎入院が多く、胃腸炎やけいれん疾患、川崎病の入院もそれに次いでいた。重症児は大学病院、市民病院に転院している。また、産科病棟の新生児診察を行い、異常のみられた新生児は当院で入院加療するほか、市民病院のＮＩＣＵに搬送を行っている。

救急診療

新潟市の二次輪番事業に協力し、日曜日を含む年間41日の輪番を担当している。急患センターからの入院依頼、救急車の受け入れが主な業務ではあるが、開業医からの紹介入院も多い。

関連施設

生協事務所内に併設されている病児保育施設「きどっこ」での病児管理を行っている。保育士と連携しながら朝８時から夕方６時までの保育提供に勤めている。昨年度の受け入れ児の延べ人数は1,120名（月平均93.3名）であった。

２．研究業績

論文・著書

邦文原著

１．樋浦誠．イオンバランスおかゆ　～開発の経緯と今後の展望～．東京小児科医会報33：82－85，2014.

２．樋浦誠．「イオンバランスおかゆ」いかがでしょう．保育と保健21：139－141，2015.

その他

◇樋浦誠

１．「イオンバランスおかゆ」のご紹介．フリーペーパーからころ36：27，2014.

◇山中崇之

１．任意接種ワクチンのすすめ．新潟医療生協458：２，2015.

学会発表

国内学会発表

１．山中崇之，小柳貴人，小林代喜夫．SPINK１遺伝子変異を認めた再発性膵炎の１例．第66回北日本小児科学会（2014／９／21，旭川）

講演

１．樋浦誠．イオンバランスおかゆ開発の経緯．新潟県小児科医会学術講演会（2014／４／５，新潟）

２．樋浦誠．イオンバランスおかゆ開発の経緯．第49回新潟市医師会臨床懇話会学術講演会（2014／11／29，新潟）

その他

社会活動

・亀田製菓、新潟大学小児科学教室と共同で「イオンバランスおかゆ」を開発しその提供、普及に努めた。WHOが推奨する経口補水液の成分に調整し、こどもが食べやすい食感のおかゆを木戸病院の患者、ご家族にモニター調査しながら開発した。亀田製菓社内報、国内学会の企業ブースでの宣伝活動に協力した。

【産婦人科】

１．活動報告

２．研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

【外科】

１．活動報告

― 当院における大腸がん検診と大腸がん治療の現状 ―

外　　科　　山田　明，阿部要一，横山義信，渡邊智子，大村哲也
消化器内科　　佐藤秀一，摺木陽久，横山　恒

１．はじめに

がんの統計2013によれば、2012年のわが国におけるがん死亡数は36万963人であり、内訳は男性21万5011人、女性は14万5853人であった。部位別の死亡数をみると男性では肺が最も多く23.9％、次いで胃15.0％、第３位に大腸がん11.9％を占めている。女性においては、大腸が最も多く14.9％、次いで肺13.8％、胃11.6％となっている。また2008年に新たに診断されたがんは74万9767例、男性43万7787例、女性31万1980例であり、男性が女性の1.4倍であった。その部位別罹患数は、男性では胃が最も多く19.2％を占め、次いで肺15.4％、大腸15.0％であり、女性では乳房が19.0％と最も多く、次いで大腸15.1％、胃12.4％となっており大腸がんの罹患例が多いことが示されている。2008年のがんの罹患・死亡データに基づけば男性、女性ともに、おおよそ２人に１人が一生のうちにがんと診断され、男性ではおおよそ４人に１人、女性では６人に１人ががんで死亡することになる。

死因別死亡率の推移をみると、1980年代より悪性新生物が第１位となり現在に至るまで増加し続け圧倒的多数を占めている。男性では肺がん、膵臓がん、大腸がんの割合が増加し、胃がんの割合が減少しており、女性では肺がん、膵臓がん、乳がんの割合が増加し、胃がんの割合が減少している。部位別のがん罹患率では1980年代以降、がんの罹患率は男女ともに増加を続け、男性では肺がん、大腸がん、前立腺がんの割合が増加し、胃がんの割合が減少している。女性においては大腸がん、乳がん、肺がんの割合が増加し、胃がんの割合が減少している。

このような現状をみると、大腸がんの場合においてはがんの早期発見による死亡率の低下をめざすがん検診の重要性が伺われる。

今回は当院での大腸がんにおける検診の意義と大腸がんの治療と成績についてまとめてみた。

注）ガンの使い方：検診学的な意味合いでは「がん」、治療においては「癌」と記述した。

２．当院における大腸がん検診の現状

日本対がん協会による各支部からのまとめでは、2013年度の大腸がん検診受診者は242万1988人であり、その中の発見がん数は4011であり、がんの発見率は0.17％と報告されている。また2012年度がん検診の追跡調査では大腸がん検診を１万人が受検すると、590人が１次検診で「異状あり」（要精検率5.9％）と指摘され、精密検査を受ける人は402人（精検受診率68.1％）、がん発見率は16人で精密検査受験者中のがん発見率は4.0％と報告されている。

当院での2011年より2014年度までの大腸がん検診の現況をみると、総受験者数は１万1825人で、便潜血陽性（２日間ヒトヘモグロビン法）となった要精検者数は1,118人で要精検率は9.8％、精検受診者数は746人で精検受診率は64.8％であった。がん例数は進行がん10例、早期がん12例の計22例で発見率は2.7％であった。また前がん病変としての大腸腺腫は279例に存在しがんを合わせた腫瘍発見率は40.3％と頻度が高かった（**表１**）。

続いて受験者数が多かったのは市民検診7338人、次に協会けんぽ6385人であった。それぞれの要精検

率は9.8%、9.3%、精検受診率は72.3%、30.3%と市民検診群で高く、協会けんぽで非常に低い傾向があった。がんの発見率は市民検診で進行がん５例、早期がん６例、計11例でがん発見率は2.6%、協会けんぽでは進行がん３例、早期がん２例の計５例で発見率2.7%であり、３種の検診で同様ながん発見率であった。また腫瘍発見率はそれぞれ44.2%、39.8%と人間ドックと同様に高率であった(**表２、表３**)。

３種の検診をまとめると、総検診受験者数は３万908人であり、要精検者数は3020人、要精検率9.8%、精検受診者数1173人、精検受診率58.7%と低い傾向となった。がんの発見数は進行がん20例、早期がん28例、計48例であり早期がん例が58.3%と多数を占め、癌の発見率は2.7%であった。また腺腫を含む腫瘍の発見率は41.1%であった（**表４**)。

日本対がん協会の結果と比較すると、当院の検診での総受診者30902人中にがん48例が発見され、発見率は0.15%とやや低い傾向であった。また要精検率は9.8%と日本対がん協会の5.9%に比して高い結果となった。精検受診率は58.7%と68.1%に比して非常に低率であった。精検受診者のがん発見率は2.7%と対がん協会の4.0%に比して低率の結果となったが、ヒトヘモグロブリン検出キットの相違による便潜血陽性となる要精検率が大きく相違ことによるものと推察される。

これらの結果をみると、当院健診センターにおける大腸がん検診においても早期大腸がんの発見例が進行がん例数をまさり、その意義が伺われる。しかしながら当院でのデータを分析するに、精検未受検者が1247人存在すること、がん発見率2.7%とすれば確率的には精検未受検者中にがんが33.7例存在することである。この事実は検診の意義において大きな問題点であり、今後これを解消する方策を真剣に考える必要がある。

さて大腸がん要精査例の精査方法は、新潟市市民検診では直腸より盲腸までを観察する全大腸内視鏡検査が推奨されている。通常当院では大腸内視鏡検査が第一選択とされているが、上部消化管内視鏡検査に比べると術前処置が煩雑、検査時間が比較的長く１日にこなせる検査件数が制限されることであり、施設の充実とマンパワーの増強することで精検件数を増加させることがわれわれの今後の課題である。また婦人科疾患手術例など腹腔内での台帳の癒着による大腸内視鏡検査の実施困難な例も比較的多く存在することは事実である。このような症例に対する大腸ＣＴは有用な検査方法として期待されているが、本年度新たに大腸ＣＴに対応したＣＴ機器を導入することが決定されていることは、当院における受検者特に内視鏡検査困難例に対しては福音である。

３．大腸癌内視鏡治療の現状

先ず大腸癌の切除治療を考えると内視鏡的治療と外科的治療の両者の選択がある。進行癌に対しては外科的切除が適応とされるが、早期大腸癌においては内視鏡治療の適応となる症例はリンパ節転移の可能性がない粘膜（M）癌と粘膜下層（SM）軽度浸潤癌であり、組織学的検索が正確に判定できるように一括切除が基本とされる。

当院での早期大腸癌の内視鏡治療をみると2011年より2014年度では154例に内視鏡的切除が行われ、性別では男性106例、女性48例と男性が多くを占めていた。年齢は39～90歳で、その平均年齢は68.5歳であったが30歳代が３例、40才代９例と若年者が7.8%を占めていることは特筆すべきことと考える(**表５**)。

これら内視鏡治療を受けた早期癌例の症状、発見動機をみると、やはり大腸がん検診目的の便潜血陽性例が79例（51.3%）と最も多かったが、大腸ポリープの経過観察例が37例（24%）を占めており今後の大腸ポリープ（腺腫）の治療の適応が再検討されるべきと考える（**表６**)。大腸ポリープ診療ガイド

ライン2014によれば、径６mm以上の病変は５mm以下の病変と比較して癌の頻度が高くなり、また形態学的に腺腫とがんの鑑別が困難であることがしばしばみられるため、内視的滌除が強く推奨されるとしている。ただし、径５mm以下の病変でも平坦陥凹腫瘍および癌との鑑別が困難な病変は滌除することを提案しており、腺腫例は多数存在するがガイドラインに沿っての治療をすべきことと考えている。その他には、下血10例、腹痛６例、便通異常６例、その他16例であったが、直接大腸癌とは関連のない症状をきたした場合にも、大腸内視鏡検査によって大腸がんの発見の機会が得られることは念頭に入れ診療をすべきことである。

内視鏡的治療をおこなった154例の病理組織学的診断をみると深達度Tis（粘膜）が129例、Ｔ１（粘膜下層）例が25例であった。Ｔ１例のうち粘膜下層軽度浸潤（≦1000μｍ）例は7例であったが、１例は静脈侵襲陽性であり外科的根治手術の適応となった。また粘膜下層深部浸潤（＞1000μｍ）例は18例あったが、12例が外科的根治手術適応と判断された。その12例中の３例（25％）にリンパ節転移陽性であり、粘膜下層深部浸潤例にたいする外科的根治手術の必要性が再認識された**（表７）**。他は重複進行癌例やその他の原因で手術適応なしと判断された症例であった。

４．大腸がん外科治療の現状と治療成績

外科における大腸癌の切除症例は2011年より2014年度までで187例だった**（表８）**。男女比は男性106例、女性81例と男性が多くを占めた。大腸癌の進行度は０が５例、Ⅰ47例、Ⅱ68例、Ⅲ45例（Ⅲａ 38、Ⅲｂ ７例）、Ⅳが22例でありリンパ節転移のなかった０、Ⅰ、Ⅱ症例が120例と多数を占めた。癌と転移巣を含めて一期的に完全に切除した治癒切除例は170例、癌病巣が遺残する非治癒切除は17例であり、治癒切除例が多数を占めた。現在までの死亡例は20例であったが、原病死例は15例ありそのほとんどが進行度Ⅳの非治癒切除の10例であった。進行度Ⅱの１例は腹膜播種が、進行度Ⅲａの３例は肝転移、腹膜播種、Ⅲｂの１例は腹膜播種と原病死例には肝転移と腹膜播種が多数を占めた。他病死例は肺炎、脳梗塞、老衰など５例であった。

近年大腸癌の薬剤による治療の進歩は目覚ましく、分子標的治療薬と多種の薬剤の併用による切除不能症例および再発大腸症例の生存期間の延長が得られるようになった。また術後補助化学療法の適応となる進行度Ⅲ、Ⅳの切除症例に対する成績が向上しており、進行癌であってもより長期の予後が得られるような薬剤の今後の開発に期待が寄せられる。

５．当院の大腸癌切除例の長期成績

当院の2004年度より2010年度の大腸癌切除例188例に対して、組織学的進行度別に５年生存率（他病死例を含む）を示した。進行度０は83.3％、進行度Ⅰは93.5％と予後は非常に良好であった。進行度Ⅱでは72.4％、Ⅲでは67.9％と比較的良好であったが、進行度Ⅳの高度進行癌、遠隔転移例の予後は21.4％と不良であった。**（図１）**

前述した化学療法および遠隔転移に対する手術手技の進歩を活用して、今後さらなる大腸癌切除症例の成績の向上をめざし大腸癌の治療にあたる所存である。

参考文献
1) がんの統計2013:公益財団法人がん研究振興財団編
2) がん・検診について：日本対がん協会ホームページ http://www.jcancer.jp/about_cancer_and_checkup
3) 大腸ポリープ診療ガイドライン2014、日本消化器病学会編

表１．大腸がん検診、日帰りドックの受検状況

日帰りドック	2011年	2012年	2013年	2014年	計
受検者数	2，699	2，915	3，172	3，039	11，825
要精検者数	319	373	249	177	1118
要精検率％					9．8％
精検受診者数	195	239	182	130	746
精検受診率％					64．8％
進行がん例数	1	1	6	2	10
早期がん例数	3	1	4	4	12
がん発見率					2．7％
腺腫例数	71	89	67	52	279
腫瘍発見率％					40．3％

表２．大腸がん検診、市民検診の受検状況

市民検診	2011年	2012年	2013年	2014年	計
受検者数	1，609	1，843	1，959	1，927	7，338
要精検者数	193	261	114	133	701
要精検率％					10．1％
精検受診者数	129	185	90	110	514
精検受診率％					72．3％
進行がん例数	1	1	2	1	5
早期がん例数	1	2	2	1	6
がん発見率					2．6％
腺腫例数	55	75	45	41	216
腫瘍発見率％					44．2％

表３．大腸がん検診、協会けんぽの受検状況

協会けんぽ	2011年	2012年	2013年	2014年	計
受検者数	1，522	1，575	1，595	1，693	6，385
要精検者数	139	208	148	100	595
要精検率％					9．3％
精検受診者数	41	60	154	36	191
精検受診率％					30．3％
進行がん例数	1	0	0	2	3
早期がん例数	0	0	1	1	2
がん発見率					2．7％
腺腫例数	17	20	23	11	71
腫瘍発見率％					39．8％

表４．４年間の大腸癌がん検診総数

検診まとめ	総数
受検者数	30，902
要精検者数	3，020
要精検率％	9．8％
精検受診者数	1773
精検受診率％	58．7％
進行がん例数	20
早期がん例数	28
がん発見率	2．7％
腺腫例数	681
腫瘍発見率％	41．1％

表５．大腸癌の内視鏡切除症例

症　例　数	154例
性　　別	男性106例、女性　48例
年　　齢	39～90歳、平均68．5歳
腫瘍の大きさ	2～68ｍｍ、平均14．8ｍｍ

表６．内視鏡治療例の症状と発見動機

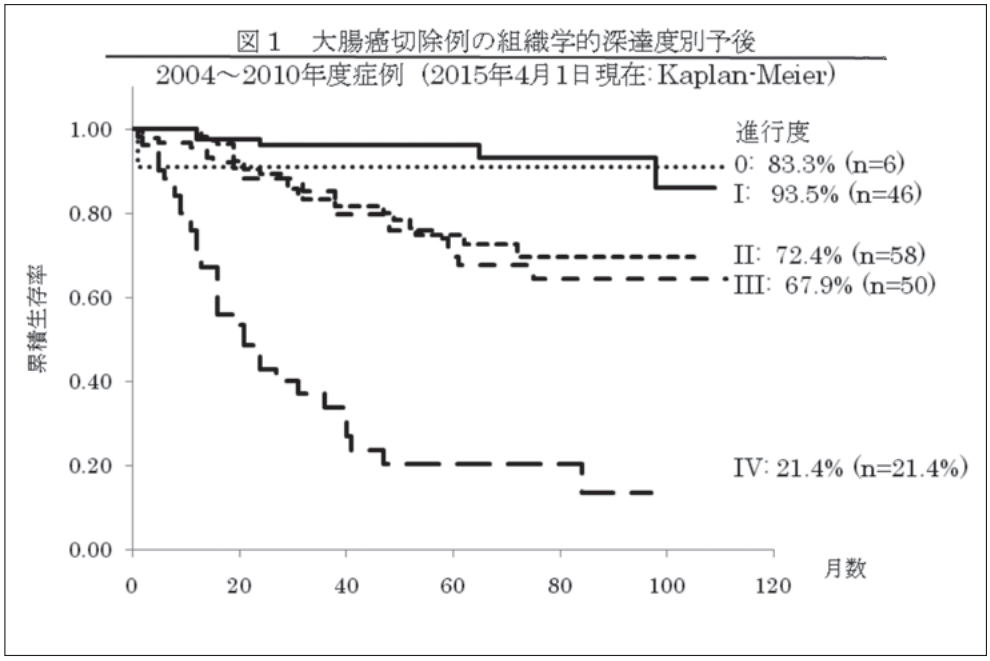
便潜血陽性精査	79例
大腸ポリープの経過観察	37例
下　　血	10例
腹　　痛	６例
便通異常	６例
そ の 他	16例

表７．内視鏡治療例の病理組織学的深達度と外科的根治手術

深達度	経過観察	外科的根治手術
Tis（粘膜）	129	0
Ｔ１（粘膜下層浸潤≦1000μｍ）	7	1（静脈侵襲陽性）
Ｔ１（粘膜下層浸潤＞1000μｍ）	18（重複癌4）	12（リンパ節転移3例）

表８．大腸癌手術・切除症例（2011～2014年度）

症 例 数　187例
男 女 比＝106：81
治癒切除：非治癒切除＝170：17
進行度別　０：５，Ⅰ：47，Ⅱ：68，Ⅲａ：38，Ⅲｂ：7，Ⅳ：22
治癒切除：非治癒切除＝170：17
死亡症例数20（原病死：他病死＝15：５）



２．研究業績

論文・著書

邦文症例報告

１．横山義信．直腸癌前方切徐の吻合部に発生したimplanatation Cystの１例．臨床外科 69：12，1403－1406，2015.

２．横山義信．リハビリテーションを行い一時退院が可能であった進行期大腸がん患者の１例．緩和ケア 124：６，491－493，2015.

学会発表

国内学会発表

１．横山義信，山田　明，渡邊智子，阿部要一，塚田一博．真性腸結石を伴つたMeckel憩室茎念転の１例．JDDW 2014（2014／10／26，神戸）

２．横山義信，塚田一博．虫垂穿孔を伴ったソケイヘルニア虫垂嵌頓（Amyand'S hernia）の１例．第69回大腸肛門病学会学術集会（2014／10／７，横浜）

講演

その他

【整形外科】

１．活動報告

２．研究業績

論文・著書

学会発表

講演

１．高橋直樹．ひざのはなし．2014健康セミナー（2014／６／29，新潟）
２．高橋直樹．ひざについて．2014健康セミナー（2014／７／28，新潟）
３．高橋直樹．ひざについて．2014健康セミナー（2014／８／28，新潟）

１．小林信也．ふまじめな腰痛の話．2014健康セミナー（2014／９／５，新潟）

その他

【皮膚科】

１．活動報告

診療体制

常勤医師２人、短時間常勤医師１人（日本皮膚科学会認定皮膚科専門医３人）の体制で診療している。

外来診療

平日および第２・第４土曜の午前に２診体制で診療している。2014年度の外来患者数は延べ10,803人（１日平均34.4人）であった（他科入院中の患者を除く）。エビデンスに基づいた診療を心がけており、コモンディジーズについてはガイドラインに沿った診療を行っている。正確な診断のために、皮膚生検を積極的に施行しており、2014年度の病理検査数は191検体であった。2014年度から病理診断は院外の皮膚病理専門医と当院皮膚科医によるダブルチェックを行っている。2014年度には、自由診療としてコレクティオ®による巻き爪矯正を開始した。

入院診療

2014年度の入院患者数は54人（延べ入院日数611日、１日平均1.7人）で、平均在院日数は10.8日であった。疾患としては、帯状疱疹と蜂窩織炎・丹毒が多く、その他、感染を伴う褥瘡、熱傷、自己免疫性水疱症、結節性紅斑、薬疹（SJS、DIHSを含む）、中毒疹、蕁麻疹、アトピー性皮膚炎、有棘細胞癌、血管炎などであった。他の診療所・病院からの紹介患者は積極的に受け入れたが、当院には設置されていない陰圧室や集中治療室への入室が必要な患者は新潟市民病院や新潟大学に紹介した。他科入院中の患者に対してはコンサルテーションによる診察に加えて、佐藤信輔が月2回褥瘡回診を行っている。

手術

2014年度の皮膚生検を含む手術件数は191件であった（創傷処理および皮膚切開術を除く）。2014年度は手術枠の増加に伴い、生検・創傷処理・皮膚切開術以外の予定手術は手術室で行う方針としたため、手術室での手術件数は94件に増加した。診療体制上、原則として執刀医１人での局麻手術に限定されるため、単純縫縮が可能な皮膚・皮下腫瘍の日帰り手術が中心であり、全麻手術・他科との共同手術・植皮や複雑な皮弁による再建が必要な場合、広範囲切除やセンチネルリンパ節生検・リンパ節郭清が必要な悪性腫瘍は新潟県立がんセンター新潟病院、新潟市民病院形成外科および新潟大学に依頼した。

関連施設

月曜・火曜・金曜の午後、木曜および第１・第３・第５土曜の午前に石山診療所で外来診療を行っている。また、介護老人保健施設ほほえみの里きど（週１回）、指定介護老人福祉施設／特別養護老人ホームあしぬま荘（月１回）、桑名病院（月２回）の診療も行っている。

2．研究業績

論文・著書

英文原著

1．Hatanaka M, Higashi Y, Fukushige T, Baba N, Kawai K, Hashiguchi T, Su J, Zeng W, Chen X, Kankura T. Cleaved CD 147 shed from the surface of malignant melanoma cells activates MMP 2 produced by fibroblasts. Anticancer Res 34: 7091-7096, 2014.

2．Nakamizo S, Egawa G, Tomura M, Sakai S, Tsuchiya S, Kitoh A, Honda T, Otsuka A, Nakajima S, Dainichi T, Tanizaki H, Mitsuyama M, Sugimoto Y, Kawai K, Yoshikai Y, Miyachi Y, Kabashima K. Dermal Vγ4 +γδ T cells possess a migratory potency to the draining lymph nodes and modulate CD 8+ T-cell activity through TNF-α production. J Invest Dermatol 135: 1007-1015, 2015.

英文症例報告

1．Yoshifuku A, Kawai K, Kanekura T. Adult-onset Still disease with peculiar persistent plaques and papules. Clin Exp Dermatol 39: 503-505, 2014.

邦文症例報告

1．下川充芳，山筋好子，久留光博，馬場直子，指宿敦子，内田洋平，米倉健太郎，河井一浩，金蔵拓郎．化学療法中にB型肝炎ウイルス再活性化が認められた成人T細胞白血病・リンパ腫の1例．皮膚臨床 56：971－974，2014.

その他

1．河井一浩．食物アレルギーと皮膚．新潟医療生協 452： 3，2014.

2．河井一浩．新しい木戸病院医誌について．木戸病院医誌 13：13，2014.

学会発表

国際学会発表

1．Hinde E, Haslam I, Schneider M, Reis-Matos T, Imanishi A, Kawai K, Kloepper K, Paus R. The sebaceous gland as a cycling skin appendage. 2014 British Society of Investigative Dermatology Annual Meeting（2014/ 4/ 7-9, Newcastle）

2．Uchida Y, Kawai K, Kanekura T. Epidermal plasmacytoid dendritic cells and disease severity in patients with psoriasis. 44th Annual Meeting of the European Society for Dermatological Research（2014/ 9/ 10-13, Copenhagen）

3．Hatanaka M, Higashi Y, Kawai K, Su J, Zeng W, Chen X, Kanekura T. CD 147 depletion induces the phosphorylation of EGFR by dow regulating cdc 25c. 44th Annual Meeting of the European Society for Dermatological Research（2014/ 9/ 10-13, Copenhagen）

国内学会発表

1．Katsuya H, Ishitsuka K, Amano M, Kawai K, Hino R, Utsunomiya A, Hanada S, Yamanaka T, Suzumiya J, Tamura K. A retrospective study of the patients with chronic- and smoldering-type adult T-cell leukemia-lymphoma in Japan. 第12回日本臨床腫瘍学会学術集会（2014／７／17－19，福岡）

2．成田淳一，河辺昌哲，河井一浩，小堺貴司．喘息症状で発症しびまん性肺陰影を呈したクロピドグレルによる薬剤性好酸球増加症の１例．第135回日本内科学会信越地方会（2014／10／４，松本）

3．野坂生郷，岩永正子，石澤賢一，石田陽治，内丸　薫，石塚賢治，天野正宏，石田高司，今泉芳孝，鵜池直邦，宇都宮　與，大島孝一，河井一浩，田中淳司，戸倉新樹，飛内賢正，渡邉俊樹，塚崎邦弘．全国医療機関における成人Ｔ細胞白血病・リンパ腫（ＡＴＬ）患者の実態調査：2010年～2011年．第76回日本血液学会学術集会（2014／10／31－11／２，大阪）

4．吉福明日香，東　裕子，松下茂人，河井一浩，金蔵拓郎．好酸球性膿疱性毛包炎に対するニコチンパッチの治療効果．第170回日本皮膚科学会鹿児島地方会（2014／11／30，鹿児島）

講演

1．河井一浩．㈱ミノファーゲン製薬　社内勉強会（2015／２／７，東京）

その他

学会活動

◇河井一浩

・日本研究皮膚科学会（評議員）
・日本皮膚悪性腫瘍学会（評議員）
・皮膚科免疫セミナー（運営委員）
・皮膚悪性リンパ腫ガイドライン策定委員
・J Dermatol（Section Editor）

学会座長

◇河井一浩

・第39回皮膚科免疫セミナー座長（2015／３／７，東京）

Journal Review

◇河井一浩

・Scientific Reports（１編）
・J Invest Dermatol（９編）
・J Dermatol Sci（２編）
・J Dermatol（48編）

研究

◇河井一浩

・鹿児島大学大学院医歯学総合研究科客員研究員

学生教育・講義

◇河井一浩

・鹿児島大学医学部非常勤講師

・鹿児島大学医学部M４講義「湿疹・皮膚炎」(2014／６／18)

院内活動

◇佐藤信輔

・褥瘡対策委員

◇河井一浩

・研究部長

・地域包括室会議委員

・医療情報システム管理運営委員

・基幹型臨床研修指定病院準備会委員

・基幹型臨床研修病院管理医員

【耳鼻咽喉科】

１．活動報告

診療体制

常勤医師１人の体制で診療している。

外来診療

平日および第２・第４土曜の午前に１診体制で診療している。2014年度の外来患者数は延べ7,976人（１日平均29.6人）であった。より正確な診断と治療を心掛け、必要と思われる検査は可能な限り行った。ガイドラインが作成されている疾患については、それに沿った治療を行った。特に、顔面神経麻痺については、ガイドラインに沿って重症度別に治療法を選択することとし、今まで当院では行っていなかったENoG（予後判定のための電気生理学的検査）を開始した。また、めまいなどの慢性疾患の患者に対し、漫然と同じ処方を続けることは避け、常に患者の状態に合った処方となるよう配慮した。

入院診療

2014年度の入院患者数は399人（延べ人数1,893人、１日平均5.2人）で、平均在院日数は4.8日であった。当科では１泊２日の検査入院、「終夜ポリソムノグラフィー（睡眠時無呼吸の検査）」を行っているが、2014年度は246人であり、入院患者数の約６割を占めていた。疾患としては、多い順に、めまい、扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽喉頭炎、慢性副鼻腔炎、顔面神経麻痺、突発性難聴、急性副鼻腔炎、鼻中隔彎曲症、慢性中耳炎、外リンパ瘻、その他であった。

手術

2014年度の手術件数は173件であった。手術室での手術件数は61件（44症例）であり、昨年の21件と比べ増加した。手術室で行った61件中44件が鼻副鼻腔疾患に対する手術であった。新潟大学医歯学総合病院耳鼻咽喉・頭頸部外科より毎週１名が助勤として来院し、２名で手術を行った。また、川名クリニックからの局所麻酔手術依頼を受け入れ、同クリニック院長が術者、野村が助手として７件の手術を行った。

２．研究業績

論文・著書

邦文原著

１．奥村　仁，石岡孝二郎，上田裕子，野村智幸．多発血管炎性肉芽種症における鼻副鼻腔ＣＴ，鼻粘膜生検の有用性の検討．日本鼻科学会誌 54（1）：７－12，2015.

学会発表

国内学会発表

１．野村智幸，石岡孝二郎，奥村　仁，上田裕子，髙橋　姿．頬部病変を伴ったTolosa-Hunt症候群の１例．第115回日本耳鼻咽喉科学会学術講演会（2014／５／15－17，福岡）

２．石岡孝二郎，野村智幸，奥村　仁，上田裕子，相澤直孝，髙橋　姿．一側鼻閉が睡眠時呼吸に与え

る影響の検討．第53回日本鼻科学会学術講演会（2014／９／25－27，大阪）

３．奥村　仁，石岡孝二郎，上田裕子，野村智幸，髙橋　姿．副鼻腔散弾異物の１例．第115回日本耳鼻咽喉科学会学術講演会（2014／５／15－17，福岡）

講演

１．野村智幸．中越耳鼻科臨床懇話会学術講演（2014／７／23，長岡）

２．野村智幸．新潟医療生協健康セミナー（2014／９／30，新潟）

３．野村智幸．新潟地区耳鼻科医会懇話会例会（2014／12／25，新潟）

その他

査読

◇野村智幸

・日本鼻科学会誌（１編）

院内活動

◇野村智幸

・地域包括室会議委員

・備品・医療材料購入委員会委員

・クリニカルパス委員会委員

【眼科】

1．活動報告

2．研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

【歯科口腔外科】

１．活動報告

診療体制

常勤歯科医師３名の体制で診療としている。

外来診療

平日　午前・午後及び第２・４土曜日午前に診療している。患者数は延べ15,350名。

入院診療

口腔外科中心に延べ309名。

摂食嚥下回診

入院中の医科患者をピックアップして、週２回（午後）回診を行い、口腔ケア、摂食嚥下リハの必要な患者に週３回（午後）専任の歯科衛生士がケア実施。

関連施設

水曜午前は風の笛、木曜午後はあし沼荘で健診、診療を行っている。月１回ほほえみの里きどで歯科衛生士が指導。月１回、マザークラス、糖尿病教室での口腔衛生指導を行っている。

２．研究業績

論文・著書

学会発表

講演

１．星名由紀子．知っておくと少しお得な歯、口、顎のはなし．2014健康セミナー（2014／11／29，新潟）

２．福原孝子．当院における摂食嚥下障害への取り組み．東新潟NHCAP懇話会（2014／６／19，新潟）

３．福原孝子．当院における摂食嚥下障害への取り組み．臨港病院院内研究会（2014／12／５，新潟）

その他

学会活動

◇鈴木　博

・日本老年歯科学会

・日本障害者歯科学会

【石山診療所】

１．活動報告

２．研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

【木戸クリニック】

１．活動報告

２．研究業績

論文・著書

学会発表

国内学会発表

１．犬飼賢也，須永隆夫．めまい患者における冷えに関する食習慣を中心とした調査．第65回日本東洋医学会学術総会（2014／６／28，東京）

２．須永隆夫，八木寛朝，犬飼賢也，関　義信，笛木　司，野本真由美，高畑興四夫．サドオケラ増産への取り組み―国産生薬の保存から生産そして増産への勧め―．第65回日本東洋医学会学術総会（2014／６／29，東京）

講演

１．須永隆夫．保険診療下における漢方治療（2015／３／14，上越）

その他

社会活動

◇須永隆夫

・月刊誌・キャレル「東洋の知恵」連載中

講義

◇須永隆夫

１．新潟大学医学部学生

２．新潟大学歯学部学生

３．新潟大学保健学科学生

セミナー

◇須永隆夫

１．盛人大学（埼玉県川口市）

２．漢方、生薬の話（月１回　ＮＨＫ文化センター）

３．体法の話（月１回　ＮＨＫ文化センター）

学会座長

◇須永隆夫

・第65回日本東洋医学会座長（2014／６／29，東京）

2．看護部

1．活動報告

看護部院内研修

・開催総数　35回　延べ参加人数1,142人

看護部署内学習会

・開催総数　36回　延べ参加数466人

看護部院外研修

・延べ人数178人

・藤野正和

　新潟県診護職員臨地実習指導者養成講習会

・武田　惇

　認定看護師教育課程感染管理分野

実習受入

・新潟看護医療専門学校

・新潟保健医療専門学校

・新潟医療福祉大学健康科学部看護学科

・国際メディカル専門学校

・国際メディカルテクノロジー専門学校

2．研究実績

論文・著書

学会発表

国内学会発表

1．透析室，４階病棟，７階病棟，８階病棟，９階病棟．第28回院内看護研究発表会（2014／８／23，新潟）

2．釣巻香代子．心血管イベントの二次予防．第15回コロキウム虚血性心疾患 in 新潟（2014／７／６，新潟）

3．江川真紀子．在宅での褥瘡予防・管理の基本．第７回新潟県在宅褥瘡セミナー（2014／９／６，新潟）

講演

その他

学会座長

◇木村弘美

・第45回日本看護学会－看護教育－学術集会一般演題座長（2014／９／18，新潟）

ファシリテーター

◇塩田登美子

・第10回新潟県糖尿病療養指導士ネットワーク会総会（2014／６／７，新潟）

院外活動

◇武田千秋

・新潟医療圏看護学生臨地実習推進協議会（運営委員）

◇丸山幸子

・公益社団法人新潟県看護協会社会経済福祉委員会（運営委員）

◇三膳景子

・公益社団法人新潟県看護協会　ナースセンター事業委員会（運営委員）

・公益社団法人新潟県看護協会東支部役員会（運営委員長）

3．医療安全管理室

1．活動報告

管理体制

医療安全管理室は医療安全と感染管理の２分野に分かれ、それぞれ1名の専従看護師が配置されている。主な活動としては院内における医療事故の防止・感染管理の役割を担う。また、両分野ともに加算を算定していることにより、多職種から構成されるチームとして活動し、カンファレンスや院内教育に力を注いでいる。近年は地域の医療の質向上のために新潟市東区の中核病院として院内の活動だけでなく、院外の活動にも積極的に参加している。

◇医療安全部門

主な活動内容

・医療安全管理委員会カンファレンス　１回／週
・リスクマネージャー会議　１回／月
・医療安全管理部門会議　１回／月
・患者サポートカンファレンス　２回／月

院内職員研修会

４月　新入職員研修
４月　新人看護職員入職時研修
５月　平成25年度部署別インシデントの振り返り
６月　新人看護職員：救急・ＡＥＤ研修
９月　救急・ＡＥＤ研修
９月　静脈血栓症
10月　新人看護職員６ヵ月研修
１・２月　トランスファー研修

法人内施設研修

７月　石山診療所　救急・ＡＥＤ研修
８月　ほほえみの里きど・なじょも　救急・ＡＥＤ研修

◇感染管理部門

主な活動内容

・ＩＣＴカンファレンス　１回／週
・感染部門会議　１回／月
・院内感染防止対策委員会　１回／月
・感染防止対策加算地域連携施設関カンファレンス　４回／年
・感染防止対策地域連携加算相互カンファレンス　２回／年

感染対策研修会

院内職員研修

４月　　新入職員研修会：病院における感染対策

７月　　全職員対象感染研修会：ＩＣＴの今後の役割と耐性菌の動向、感染対策の重要性
（講師：新潟大学医歯学総合病院　田邊嘉也先生）

７・８月　手指衛生（全部署）

10月　　全職員対象感染研修会：楽しく学べる感染対策
（講師：浜松医療センター　矢野邦夫先生）

３月　　全職員対象感染研修会：高齢者に対する肺炎の予防
（講師：信楽園病院　川崎　聡先生）

法人内施設研修

９月　委託業者研修：感染対策を考えたホスピスメンテナンス

11月　委託業者研修：ノロウイルス感染対策研修
ほほえみの里きど：ノロウイルス感染対策研修、感染対策ラウンド
なじょも：ノロウイルス感染対策研修、感染対策ラウンド

12月　委託業者研修：リネン交換時の感染対策

２．研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

院外活動

◇医療安全管理者　佐藤みゆき

・公益社団法人新潟県看護協会にて医療・看護安全委員として、新潟県看護協会での研修企画運営を行っている。

４．薬剤部

１．活動報告

平成26年度

・処方件数　　141件（１日平均）
・注射セット件数　114件（１日平均）
・服薬指導件数　　500件（１ヶ月平均）
・抗がん剤調製件数　75件（１ヶ月平均）

実習生受入

・新潟薬科大学　Ⅰ期（５月12日～７月27日）　１名
・新潟薬科大学　Ⅱ期（９月１日～11月16日）　１名

学会・研修会への参加

８月30日　日本病院薬剤師会関東ブロック第44回学術大会　３名
10月25日　新潟県病院薬剤師会　第14回「実務者研修会」　１名
11月８日　第20回新潟県薬剤師のための感染制御セミナー　１名

ＩＴＣ活動

６月　第１回感染防止加算連携施設間カンファレンス（加算Ⅱ　下越病院）
７月　第２回感染防止加算連携施設間カンファレンス（市民病院と共催）
　　第１回全職員研修会
９月　第３回感染防止加算連携施設間カンファレンス（市民病院と共催）
10月　第４回感染防止加算連携施設間カンファレンス（加算Ⅱ　下越病院）
　　第２回全職員研修会
11月　感染防止地域連携施設相互チェック（信楽園病院）
12月　第５回感染防止加算連携施設間カンファレンス（加算Ⅱ　みどり病院）
３月　第６回感染防止加算連携施設間カンファレンス（加算Ⅱ　みどり病院）
　　第３回全職員研修会

施設間カンファレンスと毎週金曜日ＩＣＴカンファレンスで抗菌薬使用状況について報告。

抗ＭＲＳＡ薬のＴＤＭをほぼ実施。抗菌薬使用届提出率向上のため提出されていない処方医に文章で報告。

糖尿病教育入院

糖尿病教育入院で『お薬の話』を担当しています。“インスリン注射の意義”と“インスリン注射の方法”の項目を新たに追加しました。また、個別の服薬指導を充実させるため担当を1名増員し指導に当たりました。

リスクマネージャー活動

平成26年度１年間での薬剤部におけるインシデント報告は総数27件、うち確認忘れ4件、確認不十分22件、その他１件となっています。また、プレインシデントとしては総数117件、うち4割弱が計数間違いでした。

患者間違いは持参薬の再分包時、手書き作業を行った場合などに発生しています。いずれも薬剤部内の監査部門にて訂正が行われました。プレインシデント・インシデント共にシステムマニュアルに不備はなく、すべき事を確実に行えば防げる事象でした。効率的な作業を行いつつ慣れによる先入観を排除することが課題です。

ＮＳＴ活動

対象患者の点滴及び内服薬の動向を確認し、毎週水曜日に行われるＮＳＴ回診で情報の提供や改善策があれば提示を行いました。

２．研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

５．診療技術部

【検査科】

１．活動報告

２．研究業績

論文・著書

１．鈴木克弥，齋藤　修，坂井絵理伽，渡邊美友貴，道村玲香，阿部　望，奈良佳輝，田中勇気，末永有香，飯沼裕美，神林真弓，大井恵子，大矢佳奈，加藤公則，津田隆志，地主雅臣．心拍変動に伴うＱＴ間隔のダイナミックス―トレッドミル運動負荷試験を用いた検討―．新潟県臨床検査技師会誌 54：212－216，2014.

学会発表

国内学会発表

1. 渡辺友子，若山正隆，工藤久志，菊地真理子．様々な心理を抱えたＡＩＤ実施患者～チーム医療への参加．第63回日本医学検査学会（2014／５／17－18，新潟）
2. 若山正隆，鎌田真由美，渡辺友子，田中弘代，津田晶子．血管内溶血を伴う敗血症で短時間に死亡した非外傷性Clostridium Perfringens感染症の１例．第63回日本医学検査学会（2014／５／17－18，新潟）

３．齋藤　修，鈴木克弥，大矢佳奈，杉浦広隆，地主雅臣．貫壁性心室筋電位からみた心室細動の電気生理学的特徴―連続Wavelet変換法を用いた検討―．第34回日本ホルター・イノベーション心電学研究会（2014／６／７，名古屋）

４．鈴木克哉，齋藤　修，大矢佳奈，飯沼裕美，神林真弓，大井恵子，津田隆志，加藤公則，地主雅臣．心拍変動に伴うＱＴ間隔変動のダイナミックス．第34回日本ホルター・イノベーション心電学研究会（2014／６／７，名古屋）

講演

その他

学会活動

◇神林真弓

・第63回日本医学検査学会（実務委員）

取得資格

◇鈴木克哉

・第16回Ｇ2010ＡＣＬＳ参加・取得

◇末永有香

・第16回Ｇ2010ＡＣＬＳ参加・取得

【病理検査科】

１．活動報告

２．研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

【放射線科】

１．活動報告

購入が見送られましたが、64列ＣＴ装置購入機器選定に向けて主として学会参加時などに多くの時間を費やしました。また、診療放射線技師・看護師の方とも多くの話し合いの場を設ける事ができました。この結果、予約外緊急検査（特にＭＲＩ）に対して診療放射線技師･看護師との連携がさらにスムーズになったと思われます。

地域医療機関からの検査依頼の報告書は、ほとんど検査当日に完成できました。

検査件数

一般撮影（マンモ撮影含む）	16,780件	
健診（胸部、マンモ）	9,920件	
ポータブル撮影	3,709件	
手術室透視	338件	
透視検査	4,170件	（内胃健診　3,491件）
骨密度検査	1,443件	（内 健 診　418件）
胃・注腸検査	284件	
CT検査	6,816件	（内造影剤使用　2,580件）
MRI検査	3,315件	（内造影剤使用　273件）
RI検査	464件	
アンギオ検査	381件	（循環器：280件、消化器：55件、その他：46件）

紹介・委託件数

紹介件数

CT検査	42件
MRI検査	17件
RI検査	14件

委託件数

CT検査	12件
MRI検査	491件
RI検査	18件

その他

班会

１件参加　「放射線について」

放射線科会議

毎月第１水曜日　　17：00～18：00

・各所属委員会からの報告、討議

・各モダリティからの報告、方針などを検討

２．研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

院外活動

◇主任診療放射線技師　小熊　義則

・（一社）新潟県診療放射線技師会理事、編集・広報部委員として活動中

・「診療放射線技師の業務拡大」に伴う講習会講師として活動中

【リハビリテーション科】

１．活動報告

理学療法部門

定例勉強会：毎月１回　30分程度

症例検討会：毎月１回　15分程度

言語聴覚療法部門・訪問リハ部門

定例勉強会：毎月１回

有志による朝の勉強会：毎日　20分程度

２．研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

院外活動

◇理学療法士　江川真司

新潟県理学療法士会学術局員・企画運営

年１回の研修準備委員長をしています

◇言語聴覚士　本田俊一

第３回新潟県言語聴覚士学術大会・企画運営

【栄養科】

１．活動報告

人員構成：管理栄養士　５名、調理師14名、事務員１名

管理栄養士：病棟担当制で各種相談に対応・病棟運営会議に参加

給食数：平成26年度214,904食（前年比102%）　特別食加算算定61,751食（算定率28.7%）

栄養管理計画書作成数：7,144枚（入院時2,744枚/再評価2,303枚/退院時2,097枚）

栄養指導

集団：糖尿病教育入院１週間コース　年間９回実施（参加者68名／年）

糖尿病・肥満教室（１日体験型・昼食付）　年間12回実施（参加者外来21名／年・入院21名／年）

個別：入院時食事指導　405件（糖尿病・心疾患・胃術後・慢性腎臓病・ＥＳＤ後・嚥下障害等）

外来食事指導　2,014件（透析予防療養指導205件／年　外来透析患者指導302件／年含む）

回診：ＮＳＴ回診１回／週　褥瘡回診２回／月

調査：嗜好調査：４回／年　残食調査：１回／月

カンファレンス：ＮＳＴ１回／月　緩和病床１回／月

実習生受け入れ

・管理栄養士養成課程：新潟医療福祉大学　３週間：１名

北里大学保健衛生専門学院　４週間：１名

新潟県立大学　２週間：２名×２クール（計４名）

・調理師養成課程：新潟調理師専門学校　年３回：３週間　各２名（計６名）

２．研究業績

論文・著書

学会発表

国内学会発表

１．山口朝子．インスリン治療にカーボカウントを取り入れて～栄養士の立場から～．第24回新潟糖尿病スタッフセミナー発表（2014／８／31，新潟）

２．山口朝子．事前学習会を通した、小児1型糖尿病キャンプにおける若手管理栄養士･管理栄養士養成校学生の専門的知識とその活用の評価．第44回新潟糖尿病談話会演題発表（2015／２／７，新潟）

３．中村明誉，奥住貴之，関口　賢．新潟市病院給食研究会料理コンクール（減塩食）（2014／９／30，新潟）

講演

1．診療技術部副部長　山賀新一郎．新・糖尿病交換表（第７版）を知っていますか？．糖尿病スタッフ会議学習会（2015／１／８，新潟）

その他

院外活動

◇調理師 中村玲美

・新潟市病院給食研究会調理理事　企画運営

◇診療技術部副部長　山賀新一郎

・新潟市病院給食研究会栄養理事　企画運営

◇管理栄養士　山口朝子

・新潟県臨床栄養研究会役員　企画運営

・スタッフ・学生向け事前学習会講師「１型糖尿病の子供の栄養」
新潟小児糖尿病キャンプコアスタッフとして企画運営（2014／８／18～20参加）

・新潟市糖尿病対策推進協議会主催「糖尿病ミニ講座」講師年３回担当

班会

管理栄養士派遣：５回

・骨と筋肉を強く（2014／５／13，寺山苺斑）

・減塩料理の工夫（2014／７／11，本所保健委員会）

・何を食べたらいいか（2014／12／１，下場支部）

調理実習：２回

科内学習会・ミーティング

・月２回30分程度（会議内容の伝達、班活動の発表や討議、院外研修会の伝達講習など）

取得資格

◇新村友子

・日本糖尿病療養指導士

◇山口朝子

・日本糖尿病療養指導士

・ＮＳＴ専門療法士

・病態栄養認定管理栄養士

【臨床工学科】

１．活動報告

臨床工学科体制

臨床工学科　臨床工学技士８名（ＭＥセンター３名、人工透析室５名）

2014年度業務件数

・医療機器保守管理業務

点検	11,526件
修理	421件

・手術室業務

眼科白内障手術	268件
眼科硝子体手術	13件
関節鏡手術	25件
自己血回収操作	13件

・ペースメーカー関連業務

植込み（電池交換含む）	21件
外来フォローアップ	195件
遠隔モニタリング	433件

・人工透析室業務

外来診療（月・水・金）午前、夜間

（火・木・土）午前、午後

入院診療　病棟透析、腹水濾過濃縮再静注法、CHDF、エンドトキシン吸着、単純血漿交換、LCAP

・その他

透析関連機器定期点検実施

実習生受入

・国際メディカル専門学校（６週間）２名

・新潟医療福祉大学（４週間）３名

院内学習会

・５／７　新人看護師対象　液ポンプ／シリンジポンプ説明会　20名参加

・６／11　病棟看護師対象　ＮＰＰＶ勉強会　15名参加

・11／19　新人看護師対象　ＮＰＰＶ勉強会　14名参加

・12／２　病棟看護師対象　人工呼吸器説明会　９名参加

・12／10　病棟看護師対象　人工呼吸器説明会　16名参加

・12／17　　病棟看護師対象　人工呼吸器説明会　18名参加
・１／９　　病棟看護師対象　セントラルモニタ説明会　10名参加
・１／21　　新人看護師対象　人工呼吸器勉強会　14名参加

学会参加
・日本臨床工学会参加（2014／５／９－11，仙台）
・日本透析医学会学術集会参加（2014／６／14－15，神戸）

２．研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

6．事務部

1．活動報告

事務部は、医事課・診療事務課・庶務課の３課に構成され、診療報酬請求、医師事務作業補助および医局事務、院内の庶務に係る業務をおこなってきました。生協事務局機能と院所機能の分離をすすめるなかでより効率的な業務の確立が課題となっています。

日本医療福祉生協の『いのちの章典』をふまえ、組合員をはじめ地域住民から信頼される医療サービスの提供につとめました。また、毎年全国の医療生協で実施されている利用者満足度調査を実施し、そのデータをもとに、職場で討議し、サービスの改善につとめるとともに、「医療福祉生協のＱＩ（臨床指標）」などを活用し、医療・介護事業の質の向上にとりくみました。

医師の負担軽減のため、医師事務作業補助体制を強化したほか効率的な業務を推進し、残業時間をさらに短縮するなど収入増・経費削減に貢献しました。事業環境が厳しくなるなか、職員のモチベーションをどう高め、維持していくか、各部門のコーディネーターとしての事務部の役割が日に日に増していると実感した年度でした。

今年度、木戸病院は基幹型臨床機能研修病院に指定を受けました。

2．研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

7．地域包括部

1．活動報告

紹介件数

内　　科 3,111件（入院960件）	耳 鼻 科　385件（入院160件）	産婦人科　259件（入院43件）
小 児 科　239件（入院168件）	整形外科　338件（入院141件）	外　　科　336件（入院150件）
皮 膚 科　266件（入院29件）	眼　　科　230件（入院40件）	泌尿器科　95件
心療内科　2件	神経内科　287件（入院65件）	歯　　科　223件（入院14件）

紹介率・逆紹介率推移

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
紹介率	29．4%	35．2%	32．1%	41%	46%
逆紹介率	18．2%	17．3%	15．4%	20．2%	27%

病院　居宅介護支援事業所報告

ケアプラン新規受け入れ　127件
終　了　数　36件

介護保険認定調査数
更　　新　40件
変　　更　10件

レセプト数・利用者介護度
要支援１　57件
要　支　援　60件
要　介　護　172件
要介護２　150件
要介護３　113件
要介護４　98件
要介護５　79件
申　請　中　38件

2．研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

◇地域医療支援関連業務

・第７回東新潟ＮＨＣＡＰ懇話会（2014／６／19，新潟）

・第８回東新潟ＮＨＣＡＰ懇話会（2014／11／19，新潟）

◇医療連携研修会

・第16回東新潟循環器研究会（2014／５／28，新潟）

・第17回東新潟循環器研究会（2014／11／19，新潟）

・看取りを考える　終末期対応の検討講演会（2014／12／４，新潟）

8．健診センター

1．活動報告

2．研究業績

論文・著書

学会発表

講演

1．山田　勉．技師チェックの向上を目指して(現状と課題)．平成26年度検診従事者職員研修会　第２分科会診療放射線シンポジウム（2015／３／５，新潟）

その他

9．研究部

1．活動報告

研究部は、診療録・図書の管理を行っており病歴担当３人、図書担当１人の４人体制となっている。業務内容としては診療録の監査、病名および処置のコーディング業務、病名検索、地域がん登録、各種ＱＩの作成、紙カルテの貸出、蔵書管理、文献検索補助、木戸病院医誌の編集・発行等を行っている

2014年度よりＤＰＣ準備病院となり、様式１の精度管理またＤＰＣデータ分析システムＥＶＥの導入により医事課と協力しＤＰＣデータの分析業務を行っている。

診療録の量的・質的点検の課題について検討し2014年度より新設された診療録管理加算１取得に向けて体制を整備している。

実習生受入

新潟医療福祉大学（１週間）４名

2．研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

◇蔵書数

単行書　2,408冊

和雑誌　89タイトル

洋雑誌　16タイトル

◇文献検索システム

医中誌Web Ver. 5

最新看護索引Web

◇定期購読雑誌一覧

洋雑誌

American Journal of Cardiology

American Journal of Obstetrics & Gynecology

Circulation

Clinical Journal of American society of Nephrology

Diabetes

Diabetes Care

Gastroenterology
Journal of Bone＆Joint Surgery（Vol.American)
Journal of Bone＆Joint Surgery（Vol.British)
Journal of Clinical Endocrinology＆Metabolism
Journal of Orthopaedic Science
Journal of the American Academy of Dermatology
Journal of the American College of Cardiolog
Surgery Today
Lancet
Nature Reviews Neurology
Pediatrics

和雑誌
あたらしい眼科
医事業務
胃と腸
医療判例解説
インナービジョン
INFECTION CONTROL
栄養と料理
おはよう21
オペナーシング
家族看護
画像診断
眼科ケア
看護部長通信
看護きろくと看護過程
看護主任業務
関節外科
肝胆膵
きょうの健康
クインテッセンスデンタル・インプラントロジー
クリニカル・エンジニアリング
ケアマネジャー
ケアワーク
継続時代の外来看護
月刊新医療
月刊デイ
月刊保険診療

月刊薬事
検査と技術
呼吸
呼吸器ケア
呼吸器内科
呼吸と循環
コミュニティケア
作業療法ジャーナル
産婦人科の実際
耳鼻咽喉科・頭頸部外科
手術
消化器外科
消化器外科ナーシング
消化器内視鏡

Ⅴ．その他の活動状況等

【１．院内研究会・研修会・講演会】

１．演　題：脂質異常症の治療について　第16回東新潟循環器研究会
　　講　師：循環器内科　太刀川　仁
　　共　催：アステラス製薬（株）
　　開催日：2014／５／28

２．演　題：木戸病院における摂食嚥下障害への取り組み　第７回東新潟ＮＨＣＡＰ懇話会
　　講　師：呼吸器内科　成田淳一，歯科　福原孝子
　　開催日：2014／６／19

３．演　題：生涯健康をめざして．　With３周年記念キャンペーン　健康セミナー
　　講　師：糖尿病内科・内分泌内科　津田晶子
　　開催日：2014／７／５

４．演　題：ＩＣＴの今後の役割と耐性菌の動向、感染対策の重要性について　木戸地区感染対策講習会
　　講　師：新潟大学医歯学総合病院感染管理部　副部長　田邊嘉成
　　開催日：2014／７／25

５．演　題：炎症性胸膜と思われたが、肺アスペルギルス感染だったステロイド内服中の慢性関節リウマチと糖尿病合併例　第７回臨床病理検討会（ＣＰＣ）
　　講　師：糖尿病内科・内分泌内科　津田晶子
　　開催日：2014／７／31

６．演　題：救急入門コース　ＡＥＤ研修会
　　講　師：看護部
　　開催日：2014／９／14

７．演　題：楽しく学べる感染対策の重要ポイント　木戸地区感染対策講習会
　　講　師：浜松医療センター感染症内科　矢野邦夫
　　開催日：2014／10／７

８．演　題：各部所の年度末に向けての目標や取り組み　第１回病院職員集会
　　講　師：看護部・診療技術部・診療事務課
　　開催日：2014／10／９

9．演　題：印象に残った症例について　第17回東新潟循環器研究会
講　師：東新潟循環器研究会事務局・循環器内科　津田隆志
共　催：アステラス製薬（株）
開催日：2014／11／19

10. 演　題：誤嚥性肺炎の予防と対策　第８回東新潟ＮＨＣＡＰ懇話会
講　師：新潟臨港病院　呼吸器内科　坂井邦彦
共　催：明治製菓ファルマ（株）
開催日：2014／11／19

11. 演　題：特別養護老人ホームあしぬま荘の５年間の終末期対応の検討　看取りを考える終末期対応の検討講演会
講　師：内科・あしぬま荘嘱託医　岸　由美子
開催日：2014／12／４

12. 演　題：診療科の年度末に向けての目標や取り組み　第２回病院職員集会
講　師：消化器内科　佐藤秀一，呼吸器内科　成田淳一，整形外科　所澤　徹，
耳鼻咽喉科　野村智幸
開催日：2014／12／11

13. 演　題：新・食品交換表を知っていますか　糖尿病センター学習会
講　　師：診療技術部栄養科部長　山賀新一郎
開催日：2015／1／8

14. 演　題：地域連携室のお話　学習会
講　師：地域包括部部長　関場佳子
開催日：2015／２／12

15. 演　題：傾向摂取をあきらめない！－私達ができること－　院内集談会
講　師：鶴岡協立リハビリテーション病院　福村直毅
開催日：2015／２／16

16. 演　題：高齢者に対する肺炎の予防－肺炎球菌ワクチンの重要性　木戸地区感染対策講習会
講　師：信楽園病院呼吸器内科部長　感染制御室長　川崎　聡
開催日：　2015／３／16

【2．看護部院内研修会】

【看護部新人教育】

1．演　題：新人研修―輸液ポンプ・シリンジポンプ
　　対象者：新人看護師
　　開催日：2014／5／7

2．演　題：新人研修―3ヶ月評価&急変時の対応
　　対象者：新人看護師
　　開催日：2014／6／26

3．演　題：第10回模擬患者会セッション
　　対象者：2014年度入職看護師
　　開催日：2014／7／16

4．演　題：卒後2年目事例発表会―事例のまとめ方
　　対象者：卒後2年目看護師
　　開催日：2014／7／23

5．演　題：新人プリプリ研修会―インスリン注射
　　対象者：新人看護師
　　開催日：2014／8／20

6．演　題：新人プリプリ研修会―輸血療法
　　対象者：新人看護師
　　開催日：2014／9／17

7．演　題：2014年度新人看護職員
　　対象者：2014年4月入職看護師
　　開催日：2014／9／17

【看護部研修会】

1．演　題：プリセプター研修会(1)
　　対象者：2014年度のプリセプター
　　開催日：2014／3／26

2．演　題：プリセプター研修会(2)
　　対象者：2014年度のプリセプター
　　開催日：2014／7／2

3．演　題：看護記録と法的責任
　　対象者：看護職員
　　開催日：2014／５／27

4．演　題：静脈血栓症
　　対象者：看護職員
　　開催日：2014／９／24

5．演　題：心不全患者の退院支援２
　　対象者：８階病棟スタッフ・ＭＳＷ
　　開催日：2015／２／６

【看護部教育実習実施】

1．演　題：ストーママーキング学習会
　　対象者：９階病棟
　　開催日：2014／４／30

2．演　題：線維筋痛症と双極性障害
　　講　師：整形外科　所澤　徹
　　対象者：４階病棟
　　開催日：2014／５／12

3．演　題：「リオナ」製剤学習会
　　対象者：人工透析室
　　開催日：2014／６／９

4．演　題：ＮＰＰＶ学習会
　　対象者：４階病棟
　　開催日：2014／６／11

5．演　題：アナフィラキシーショックとエピパン
　　対象者：外来
　　開催日：2014／６／11

6．演　題：耳鼻科の器械内容の変更とセットの方法について
　　対象者：手術室
　　開催日：2014／６／16

7．演　題：脳の構造
講　師：神経内科　高橋俊昭
対象者：４階病棟
開催日：2014／６／17

8．演　題：エチコン一縫合糸・縫合針の基礎、縫合糸メーカー各製品の違いについて
対象者：手術室
開催日：2014／６／23

9．演　題：観血的動脈圧測定の準備について
対象者：手術室
開催日：2014／６／24

10. 演　題：中越内視鏡外科研究会出張の報告
対象者：手術室
開催日：2014／６／25

11. 演　題：新人スタッフのための腎不全、透析治療入門
対象者：人工透析室
開催日：2014／６／27

12. 演　題：神経症候の要点
講　師：神経内科　高橋俊昭
対象者：４階病棟
開催日：2014／７／１

13. 演　題：麻酔導入、覚醒時の注意点・観察点や必要物品について
対象者：手術室
開催日：2014／７／４

14. 演　題：腰部脊柱管狭窄症
講　師：整形外科　小林信也
対象者：４階病棟
開催日：2014／７／17

15. 演　題：麻酔科伊藤先生講義
講　師：伊藤裕之
対象者：４階病棟
開催日：2014／７／18

16. 演　題：睡眠時無呼吸症候群と心不全
　　対象者：８階スタッフ
　　開催日：2014／８／１

17. 演　題：患者指導
　　対象者：人工透析室
　　開催日：2014／８／１

18. 演　題：腰痛診療ガイドライン
　　講　師：整形外科　小林信也
　　対象者：４階病棟
　　開催日：2014／８／４

19. 演　題：気道確保困難時の対処法
　　講　師：麻酔科　関根慎一
　　対象者：手術室
　　開催日：2014／８／４

20. 演　題：心不全患者の退院支援(1)
　　対象者：８階スタッフ・８階病棟看護師
　　開催日：2014／８／６

21. 演　題：ＣＫＤ－ＭＢＤ合併症学習会
　　対象者：人工透析室
　　開催日：2014／８／25

22. 演　題：予防接種の役割
　　対象者：６階スタッフ
　　開催日：2014／８／27

23. 演　題：腹膜透析療法（ＣＡＰＤ）
　　対象者：人工透析室
　　開催日：2014／９／５

24. 演　題：ストーマケアにおける装具選択
　　対象者：９階スタッフ
　　開催日：2014／９／30

25. 演　題：看護研究に取り組むテーマを絞る
対象者：６階スタッフ
開催日：2014／10／８

26. 演　題：腎貧血改善薬について
対象者：外来
開催日：2014／10／８

27. 演　題：ＳＰＰ（ＰＡＤ）学習会
対象者：人工透析室
開催日：2014／10／８

28. 演　題：接遇研修
対象者：６階病棟
開催日：2014／10／17

29. 演　題：ＣＡＰＤの実際
対象者：人工透析室
開催日：2014／10／31

30. 演　題：新生児蘇生法
対象者：６階スタッフ
開催日：2014／11／10

31. 演　題：接遇研修
対象者：９階スタッフ
開催日：2014／11／17

【看護助手研修会】

１．演　題：看護倫理
対象者：看護助手
開催日：2014／４／22

２．演　題：安全を考える
対象者：看護助手
開催日：2014／11／12

表紙題字

佐野誠一

「住民の意向を反映させた住民主体の医療と福祉の地域づくり」を念頭に、1975年1357名の組合員と新潟医療生活創立総会を開催。

翌1976年５月６日　88床で木戸病院を開院。初代理事長に就任。

2003年「消費生活協同組合等に対する厚生労働大臣表彰」を受ける。

2005年長年の社会活動が認められ高齢者叙勲で「旭日双光賞」を受賞。

2011年６月理事長退任。

編集委員

河井一浩　市橋美智代　田部正一　田中弘代　菊地順子
荒木舞花　眞田瑞樹　仲井智恵子

木戸病院医誌　　2015　VOL. 14

平成27年９月

新潟医療生活協同組合

木　戸　病　院　　TEL 025-273-2151
石 山 診 療 所　　TEL 025-276-5111
健診センター　　TEL 025-270-1831
木戸クリニック　　TEL 025-274-7960

〒950-0862　新潟県新潟市東区竹尾４丁目13番３号